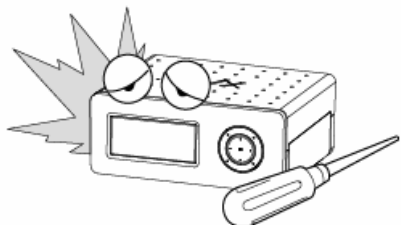
取扱説明書

TViX HD M-4000P

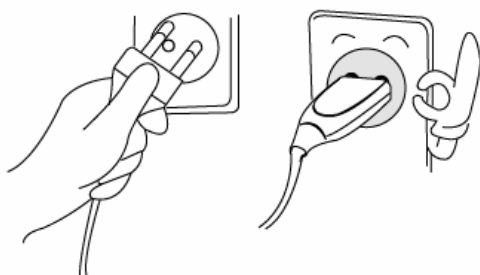
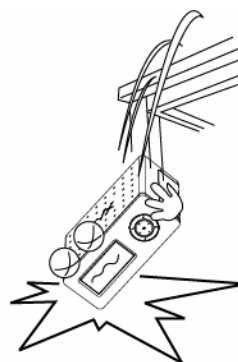
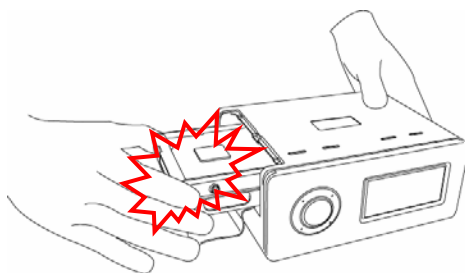
取扱説明書

安全のために

本体を分解しないでください。故障や発火の原因となります。

磁気製品はHDDのデータを消してしまう可能性があります。TViXに磁気製品を近づけないでください。

油、煙、湿気、埃の多い場所に置かないでください。

熱源や炎の傍に置かないでください。

電源プラグには濡れた手で触らないでください。また不具合のある電源コードを使用しないでください。感電や発火の原因となります。

落下や強い衝撃はHDDの致命的な不具合の原因になります。

● 使用中ハードディスクは非常に高温になりますので、使用直後にハードディスクをTViXから取り出すときは十分に気をつけて行ってください。

換気口を塞がないでください。機器の周囲は十分なエアフローを確保してください。

使用上のご注意

TViXをお使いいただく前に、次の注意を必ずお読みください。

- TViXとA/Vコードをつなぐ際は、TViX本体の電源がOFFになっている事を確認ください。
- TViX製品を掃除する場合、電気コードを抜きやわらかい乾燥した布を使い拭いてください。
- USBケーブルでコンピュータに接続された場合、TViXは外付けUSB記憶装置になります。(この状態では、ビデオ/オーディオ出力はありません。また、液晶パネルにUSB ONとして表示されます。) TViX再生モードにするには、コンピューターに接続されたUSBケーブルを外して、TViXの電源を入れなおしてください。
- TViX再生モードで動作しながらもUSBケーブルでコンピュータに接続されている場合、USB ONアイコンが画面の中心に表示されます。USBケーブルを外すと、初期画面を表示します。
- TViXにインストールするハードディスクのジャンパ設定がマスター(もしくはシングル)に設定されていることをご確認ください。ジャンパ設定が正しくなければハードディスクは認識されません。
- ハードディスクを外す時は十分にハードディスクの熱を冷ましてから行ってください。
- TViXの電源をOFFにする際は必ず再生を停止してから行ってください。再生中に電源を切りますとハードディスクにダメージを与えてしまう可能性があります。
- 同梱されているコードおよび付属品は、TViXに最適化されたものです。他のコードをご使用になりますと最良のパフォーマンスを発揮できない可能性があります。
- Windows 2000/XPの上でFAT32のファイルシステムを選択した場合、Windows 2000/XPの仕様により最大で確保できる領域は32GBまでとなります。32GBを超える領域を指定した場合、FAT32のファイルシステムではフォーマットできません。32GBを超えるFAT32ファイルシステムを利用したい場合、Windows98SE/MEでフォーマットを行ってください。
- FAT32ファイルシステムを利用した場合、2GBを超えるファイルに対してはアクセスができなくなります。2GBを超えるファイルを利用する場合は、NTFSファイルシステムをご利用ください。
- NTFSファイルシステムでフォーマットを行った場合、TViX上で複数のパーティションを認識させることができます。その場合、作成するパーティションは「プライマリパーティション」で作成してください。
(Windows95SE/MEではNTFSファイルシステムは利用できません。)
- デバイスを取り外す場合、タスクトレイの「ハードウェアを取り外し」の「停止」ボタンをクリックしてから取り外してください。
- シリアルシールは本体の底面に貼ってあります。シリアルシールは保証を受ける際に必要となりますので剥したりしないでください。

目次

1　はじめに

1.1 マルチメディアプレイヤー

TViXは、ハードディスクに保存されている動画ファイルや音楽ファイル、映像ファイル、DVDファイルををご家庭のTVや家庭のエンターテイメントシステムで鑑賞できるマルチメディアプレイヤーです。また、コンピュータ用の外付けハードディスクとしてもお使いいただけます。

TViXは、通常のDVDプレーヤーのようにDVDの映画を再生します。.ISOか.IFOフォーマットでお好きなDVDを集め、仮想のDVDコレクションリストを作成することができます。それらを通常のDVDプレーヤーが持っている機能(メニュー、チャプター、音声、字幕、早送り、巻き戻し、スロー、一時停止、ステップ、検索など)のまま再生できます。

TViXは高解像度ビデオ(1920x1080iまで)と静止画像が再生できます。HDVカムコーダーで撮ったコンテンツを高解像度のまま、TViXで再生することができます。TViXはDVIケーブル、およびコンポーネントでつないで高解像度の動画を再生することができます。

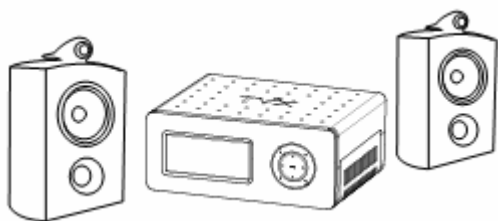
Sigma Design社の最新のチップ「EM8621」を使用していますので、TViXは最新のマルチメディアファイルフォーマットWMV9とWMV HDやMPEG4 AVI 3.11、4.0、5.0をサポートしています。

高画質DVI出力を使う場合はTViXをHDTV(高精細テレビ)やパソコンモニタのDVI 端子につないでください。

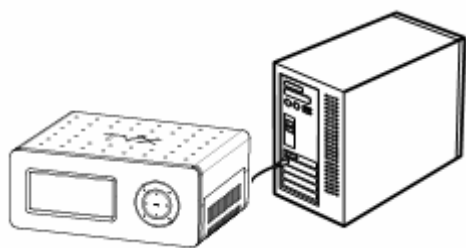
TViXはDTSとダイナミックな高音質のDTS2チャンネルをサポートしています。

TViX HDではビルトインのLANポートでネットワーク接続出来るので、PCからファイルを操作出来ます。
TViX HDのネットワーク接続とネットワークを介してのファイルの再生はファイルの場所はそのままで行えますので、わざわざ最初にTViXにファイルを転送する必要がありません。
LAN経由でのファイルコピーをサポートします。

2つのUSB2.0ポートに、他のUSB外付けハードディスクをつなぎ、容量を拡張することができます。また他のUSBデバイスからファイルを転送することもできます。デジタルカメラ、USBフラッシュドライブ、USBカードリーダー、MP3プレーヤーからファイルを再生することもできます。
(バスパワーで動作するUSB機器を接続した場合、正常に動作しない可能性があります)

1.2 音楽の再生

● TViXは FLAC,MP3、Ogg Vorbis、WMAなどの音楽ファイルをTVのスピーカーやお手持ちのオーディオシステムで再生できます。お好きな曲だけのプレイリストを作成すれば一日中音楽をお楽しみいただけます。

●スライドショーをBGMを聞きながら再生できます。(静止画像を音声付スライドショーとして再生します。)

1.3 外付けハードディスク

● USB 1.1ポートへ接続すると、TViXはUSB 1.1仕様の遅い速度になりますので、USB 2.0を使用することをお薦めします。

● ビデオ、オーディオ、イメージ・ファイル、データ、プログラムのバックアップなどを保存する外付けハードディスクとして使用することができます。

● TViXをコンピュータのUSB 2.0に接続すると480Mbps(理論値)の転送速度による外付けハードディスクになります。一部システム(Windows98SE/MEを利用されている場合、サービスパックを適用していないWindows2000/XPの場合)では転送速度が上がらない場合があります。

● Plug & Playをサポート。WindowsはTViXを自動認識します。

● TViXをお使いになる時にUSBポートに接続する場合、液晶パネルにUSB ONと表示されます。USBを抜いたときは、TViXを再起動することなくそのままお使いいただけます。

● Windows98SEをお使いの場合は、TViXをPCにつなぐ前にUSBドライバを http://www.tvix.co.kr/jpn/support/EtcDrivers.aspx からダウンロードしてください。WindowsME、2000、XPでは、USBドライバをインストールする必要はありません。

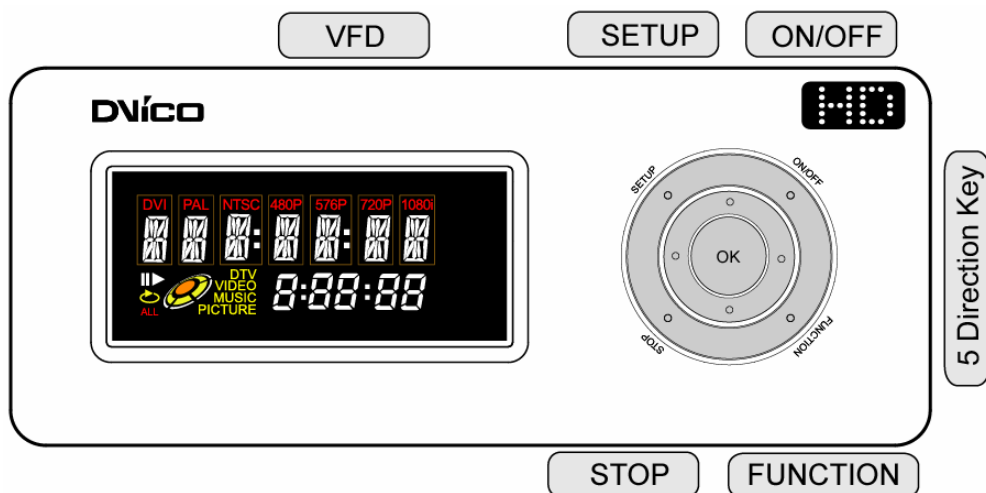
1.4 仕様

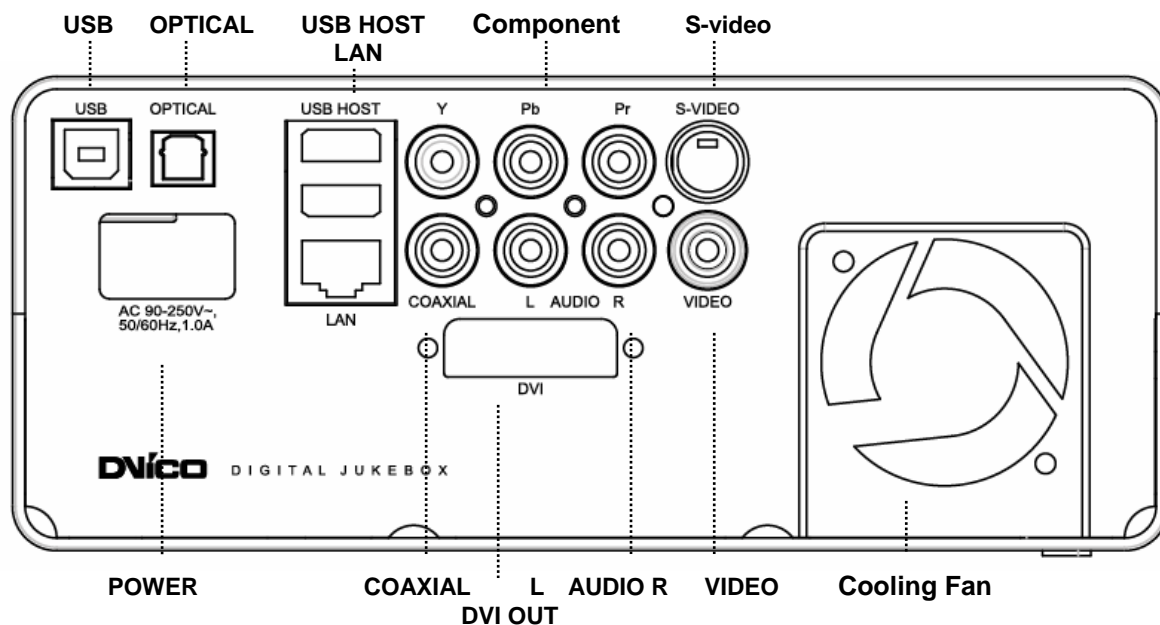
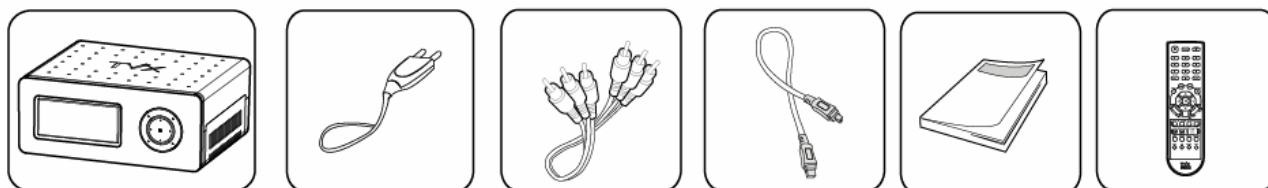
メインチップセット	Sigma Design EM8621
液晶パネル表示	7個　半角英数字
	5個　デジタル数字表示
動画	ファイルシステム :.wmv, .avi, .mpg, .vob, .mp4, .asf, .ts, .trp, .IFO, .ISO, .m2t, .m2p
	コーデック : MPEG 1 / 2 / 4, DivX, XviD, WMV9
	解像度: 1920 x 1080i, 1080P
音楽	MP3, WMA, AAC, Ogg, PCM, M4A, FLAC, WAV
	AC3, DTS (DTS Pass Through), ダウンミキシング
静止画像	JPG
インタフェース	USB2.0 ホスト 2 Ports USB2.0 ターゲット 1 Port
	LAN (10/100Mbps)
	Multi I/O ジャック (Optional Breakout Box)
AV 出力	ビデオ出力
	DVI, コンポーネント、Sビデオ、コンポジット
	オーディオ出力
	デジタル:同軸 (**)、オプティカル / アナログ:ステレオ
File Formats	NTFS, FAT32
字幕	テキスト字幕 : smi, sub, srt, aqt, utf, lrc / 映像字幕 : sub (with idx)
Hard Disk	3.5 インチ HDD PATA (IDE UltraATA33/66/100/133)
ODDサポート	USB 2.0ホスト経由
言語	日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、 イタリア語、ポルトガル語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、韓国語
ファン	40mm ブラッシュレスFAN
ファンコントロール	温度センサ、多様な回転速度
メインメモリ	64Mバイト
フラッシュROM	8 Mバイト
電源	90～240V フリーボルト仕様
サイズ	183x139x75 mm
重量	1.3kg (HDD含む)

※ 拡張子の一致または対応できるコーデックで作成されているファイルの場合でも作成方法によっては正常に再生されない場合があります。
※ ファイル名、フォルダ名、ID3タグ、字幕ファイル等に2バイトコードの文字を使用されている場合、一部文字が正常に表示されない場合がります。
※ 仕様は製品出荷時の仕様となります。今後、ファームウェアの更新などにより上記仕様と製品機能に異なる部分が発生する可能性があります。ご了承ください。
※ 全ての機能を利用する為に、TViX WEBサイトを確認しファームウェアの更新を行うことをお勧めいたします。
※ 動作に関するご質問はTViX WEBサイト掲示板へ記入ください。
http://www.tvix.co.kr/JPN/Boards/

2　各部の説明

2.1 本体部分

基本操作はリモコンを使用せずに行えます。

2.2 本体後面　接続部分

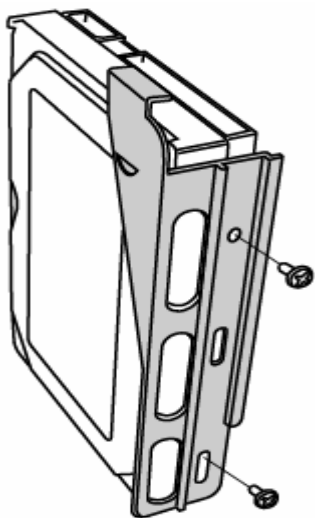
A/V ケーブルでテレビ画面や、オーディオアンプに接続できます。

2.3 本体と付属品

TViX M-4000　　電源ケーブルx2　　A/Vコード　　USBケーブル　取扱説明書/保証書　　リモコン

HDD マウンター　　ネジ

※ハードディスク、S-VIDEO、コンポーネント、光デジタル、同軸デジタルの各ケーブルは同梱されておりません。

3 インストール方法と接続

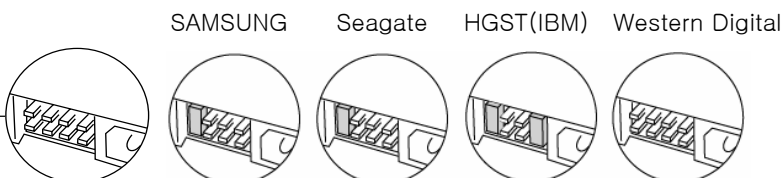
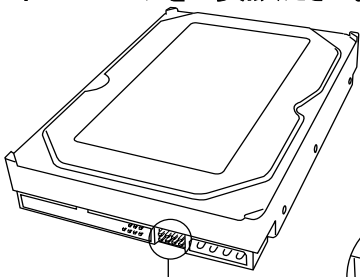
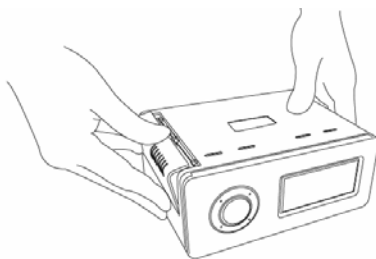
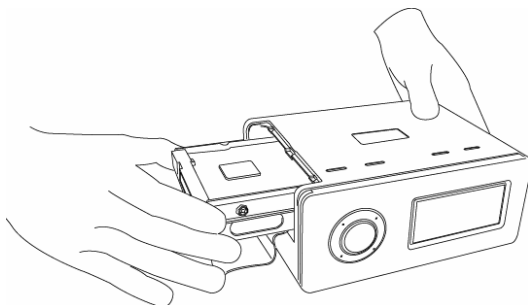
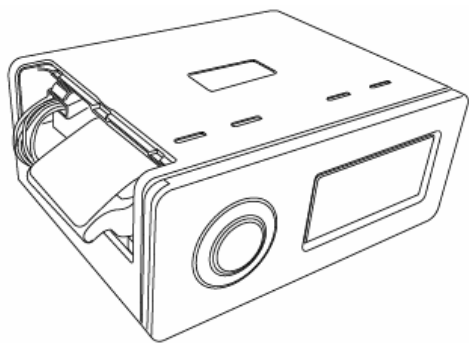
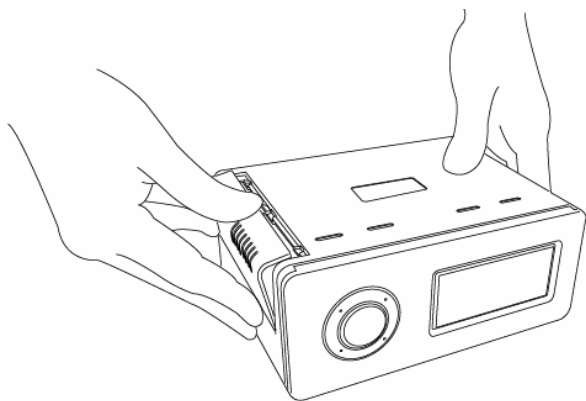
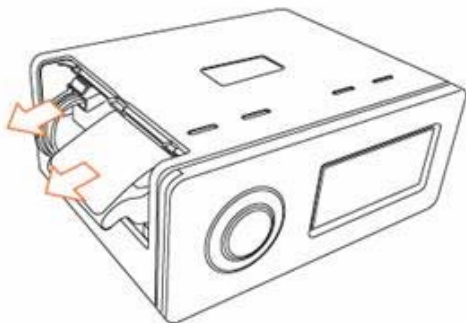
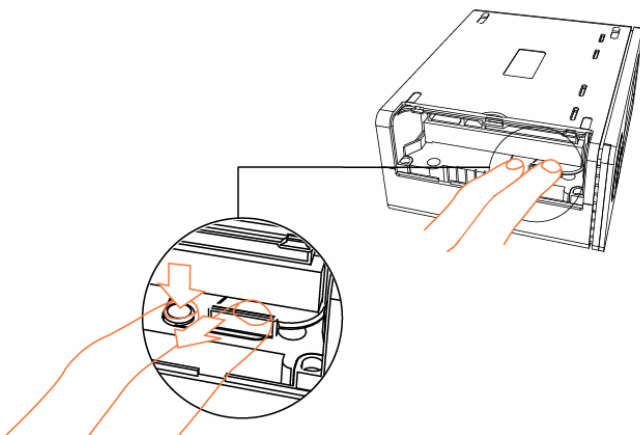
3.1 ハードディスクドライブのインストール/交換

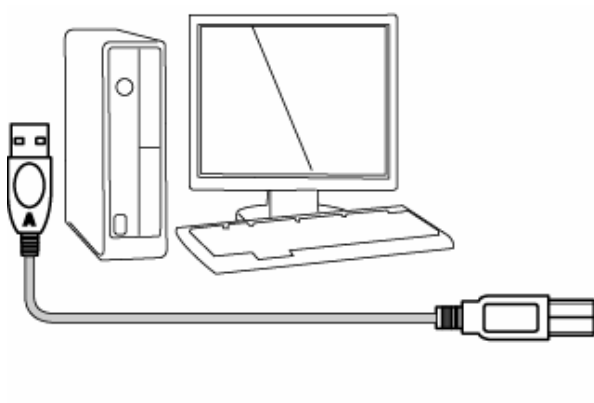
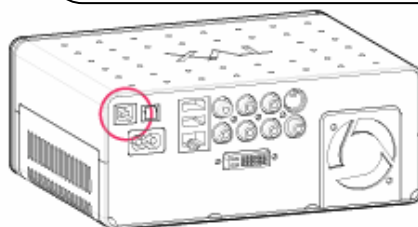
新しいハードディスクを装着する場合には、下の説明に従って進行してください。

1. 左図を参照してハードディスクとHDDマウンターを組み立ててください。HDDマウンターはIDEケーブルのある所にドライバーを利用してネジを締めてください。

新しく購入したハードディスクを装着するときには、ハードディスクのジャンパ設定を「マスター」、又は「シングル」モードに設定してください。

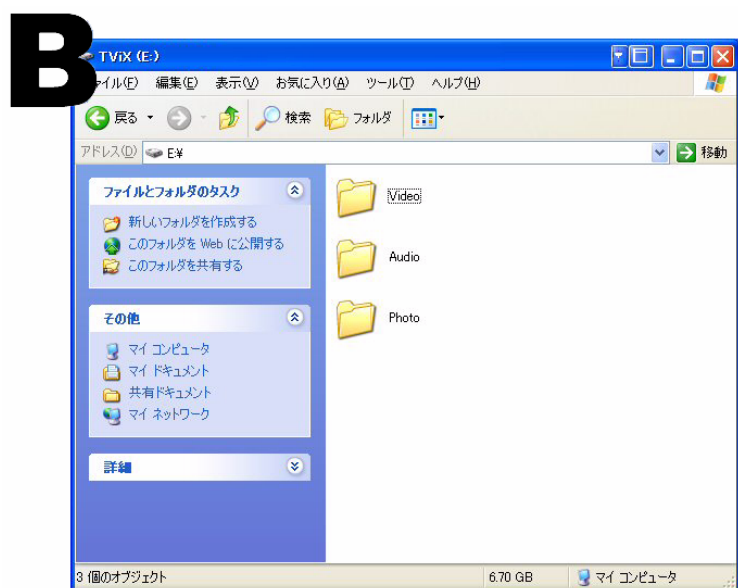
M-4000PではPATA (IDE Ultra ATA 33/66/100/133) HDDのみが使用出来ます。

< ジャンパー設定 : M-4000P>

ハードディスクのジャンパー設定はメーカーによって異なりますので詳しい説明はハードディスクの上面またはメーカーホームページをご参照ください。

2.本体の横面にあるディスクカバーを図のように押して取り外します。

3. 「マスター」モードに設定されたハードディスクを図のようにTViXの中に2/3ほど入れ込みます。

4. 電源ケーブルとIDEケーブルを取り付けます。装着する時にHDDでIDEケーブルに傷付ける場合もありますのでご注意ください。

5. ディスクカバーを閉じます。

6. ハードディスクを交換するためにハードディスクを取り出す時にはパワーケーブルとIDEケーブルを取り外します。

7. ハードディスクを取り出す場合には中指で黒いボタンを押して人差し指をHDDマウンターにかけて引き出してください。HDDマウンターを無理やり引き出さないでください。

3.2 HDDフォルダの作成の仕方

1. 下の図のようにUSBケーブルの片方の端をTViXに、もう一方をPCに接続してください。

ご注意
USBケーブルの両端の形が違いますのでご注意ください。両端とも Aプラグ(オス)とBプラグ(オス)になっているUSB2.0コードを使います。

2. PCに接続後、TViXの電源を入れてください。

3. マイコンピュータのアイコンをダブルクリックし、図Aのようにボリュームが新しく作成されているかご確認ください。(ドライブ名は内蔵したハードディスクのボリュームラベルが表示される為、実際の名称は異なる可能性があります。)

※未フォーマットの場合はマイコンピュータに表示されませんので、「8.2 Windows 98SE/MEでのパーティション作成とハードディスクドライブのフォーマット」、「8.3 Windows 2000/XPでのパーティションの作成とハードディスクドライブのフォーマット」を参照してフォーマットを行って下さい。

4. 認識したTViXのハードディスクを開き、図BのようにVideo、Audio、Photoの名前でフォルダを作成します。(フォルダ名を上記の用に作成した場合、TViXメニューのVideo、Audio、Photoメニューを選んだ場合それぞれのフォルダが自動的に開かれます。)

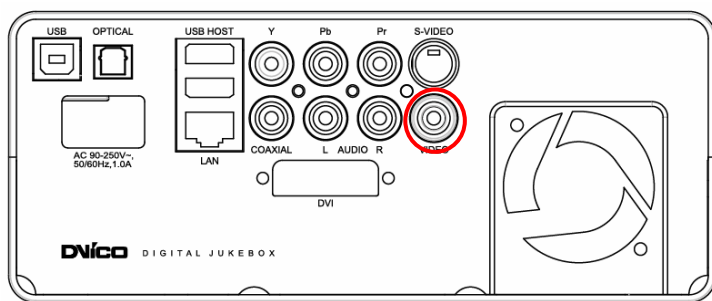
5. 再生したいファイルをそれぞれのフォルダに分けてコピーします。

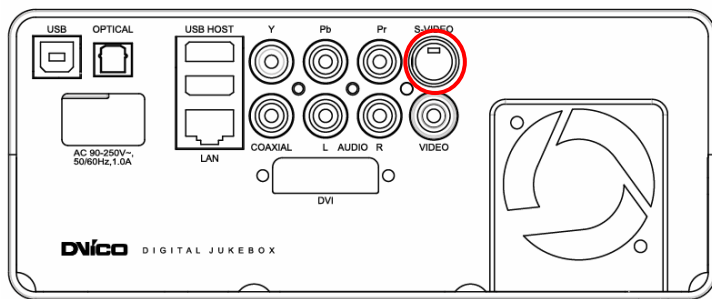
3.3 ビデオケーブルの接続

DVI(デジタル ビジュアル インターフェース)、コンポーネント、Sビデオ、コンポジットビデオ出力をサポートしています。各出力はTViXの設定で変更設定をする必要があります。

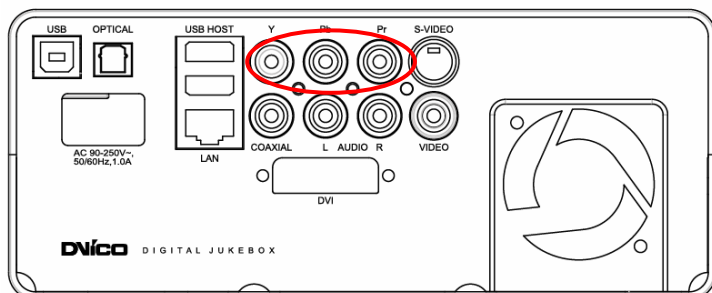
画質の順番は、コンポーネントが一番高く、その次にDVI→Sビデオ→コンポジットの順になります。

3.3.1 AV映像入力端子のある機器への接続

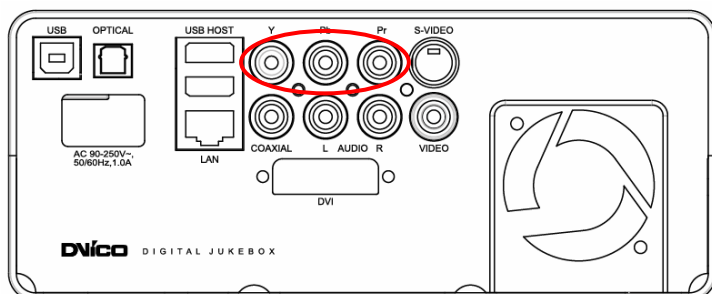
TViXとテレビを黄色のコンポジットケーブルで接続します。
TViXとTVの電源を入れ、初期のTViX画面が表示されるまで正しいビデオ入力モードを選択してください。

3.3.2 S-VIDEO入力端子のある機器への接続

TViXとテレビをS-VIDEOケーブルで接続します。
TViXとテレビの電源を入れ初期のTViX画面が表示されるまで、正しいテレビのビデオ入力モードを選択してください。
(S-VIDEOケーブルは別売りです)

3.3.3 コンポーネント映像入力端子のある機器への接続

TViXとテレビをコンポーネント映像ケーブルで接続します。
TViXとテレビの電源を入れ初期のTViX画面が表示されるまで、正しいテレビのビデオ入力モードを選択してください。（コンポーネント入力モードになる場合があります）

※コンポーネント映像ケーブルは別売りです。

3.3.4 D映像入力端子のある機器への接続

TViXとテレビをD端子‐コンポーネント映像ケーブルで接続します。

※D端子‐コンポーネント映像ケーブルは別売りです。

ご注意
テレビにビデオケーブルを接続した後、TViXの初期画面が表示されるまでリモコンのTV Outボタンを押し続けてください。

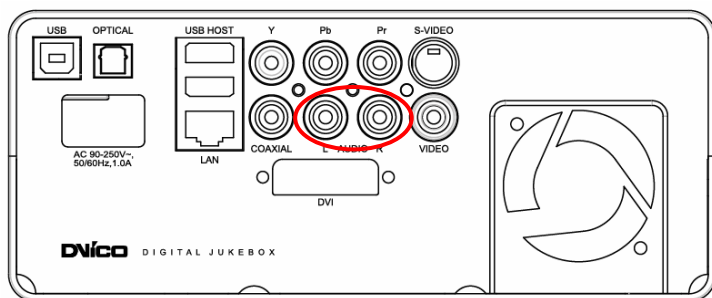
3.3.5 HDMI映像入力端子のある機器への接続

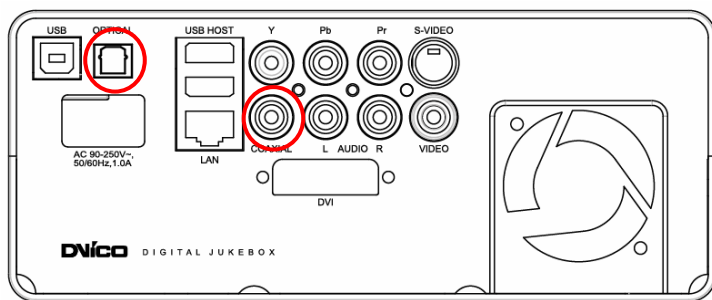
TViXとテレビをHDMI‐DVIケーブルで接続します。

※HDMI‐DVIケーブルは別売りです。

3.4 オーディオコードの接続

3.4.1 テレビのスピーカへの接続

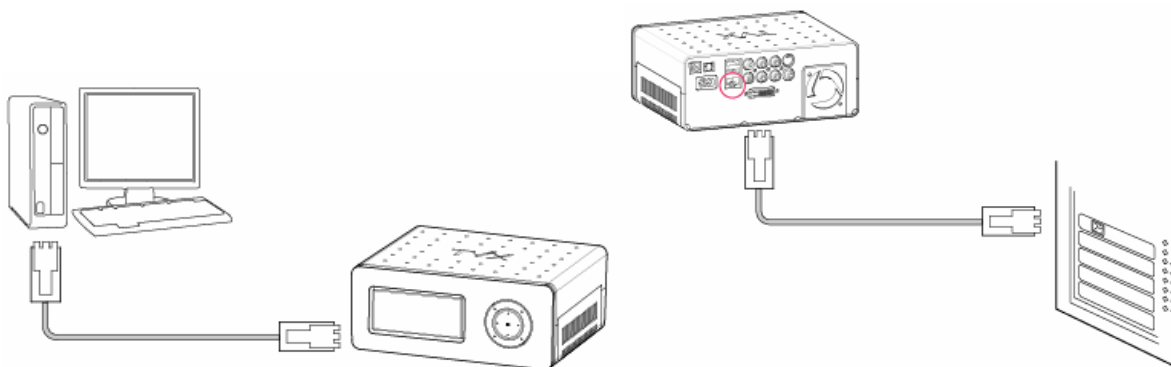
左に白色のケーブル、右に赤色のケーブルをテレビ、又はHi-Fiシステムにつないでください。

3.4.2 5.1デジタルサウンドへの接続

光デジタルか同軸入力端子があるマルチチャンネルデコーダ、アンプをお持ちの場合は、5.1chの高音質を楽しむことができます。
左図のように同軸デジタルケーブルをつなぎます。光デジタルも同じように繋ぎます。
（これらのケーブルは別売りになります）

ご注意

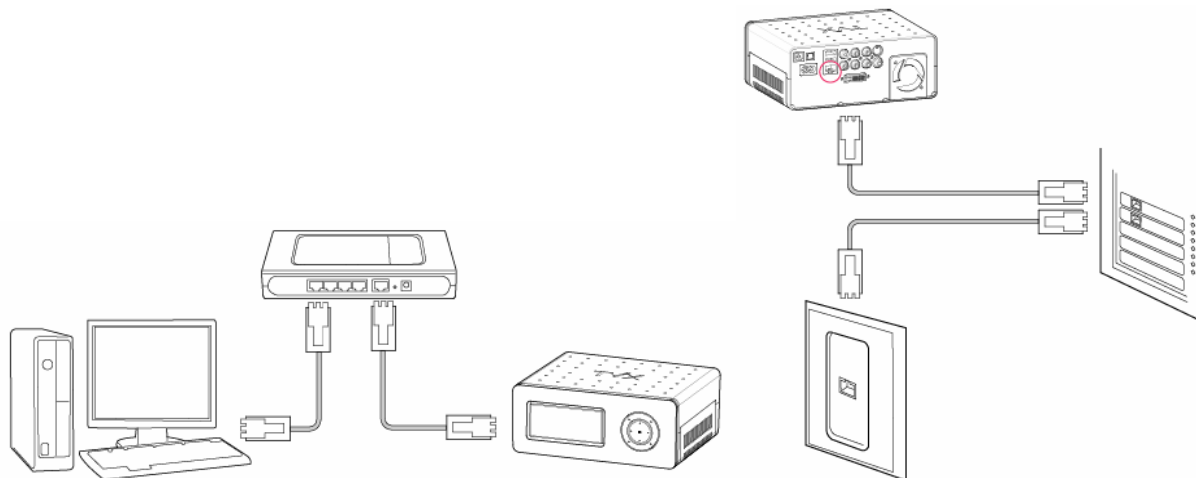
何も音が聞こえない場合は、TViXのオーディオ設定でデジタルに変更してください。

3.5 LANケーブルの接続

3.5.1 PCをネットワークに接続する

<お手持ちのPCとTViXを直接つなぐ >

TViXおよびPCのLANポートにLANケーブルを接続してください。

ヒント
この場合は、LANクロスケーブルを使用します。コンピュータのLANカードがインターネットに接続されている場合、他のLANカードをPCにインストールしてください。そのLANカードをTViXに接続します。

< IPルーター、ハブ経由の接続 >

IPルーター、ハブに接続するため、LANポートにLANケーブルを接続してください。

ヒント
この場合は、ストレート結線のLANケーブルを使用してください。

3.5.2 ネットワーク接続の設定

＊ **IP 設定** : 初期設定はDHCPです。LANを介してDHCPでアクセス出来ない場合は、固定IP設定を使用してください。TViX HDのネットワーク設定の仕方を参照してください。

＊ **ネットワークディスク**: サーバーIPアドレスにPCのIPアドレスを入力してください。(例:192.168.001.128). 4基までのネットワークディスクをサポートします。

TViX4000シリーズでは2種類のファイル共有システムがあります。一つはSAMBAでもう一つはNFSです。

-SAMBA:特別なプログラムなどを必要とせずにネットワーク越しにファイルの再生を行えますが、NFSに比べ、速度は劣ります。(設定方法はP.18からの「3.5.4 SAMBAでのネットワーク設定」を参照してください。)

-NFS:PCにTViX NetShare ユーティリティーをインストールしなくてはなりませんが、TPやDVDビデオファイルなども滑らかに再生出来ます。(設定方法はP.23からの「3.5.5 NFSでのネットワーク設定」を参照してください。)

ファイルシステムはNTFSでの共有を推奨します。FAT32では恒久的なファイル名を作成するのに十分な情報を格納出来ないので、ファイル名を変更するとTViXではそのファイルを読み込まなくなります。

詳細についてはホームページ(http://www.tvix.co.kr/JPN/Default.aspx)からNetShareインストーラーとマニュアルをダウンロードしてください。

数機のTViXが1機のPCにアクセスしている場合はSAMBAを使用しなくてはなりません。

＊ **TViX ネットワーク設定情報** : TViXのネットワーク情報を確認出来ます。

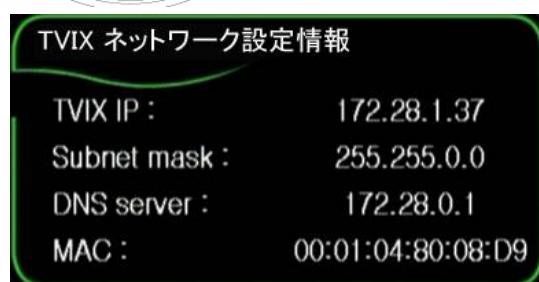
＊ **FTP パスワード** : FTPの機能を使用する場合はこのパスワード機能を使用しなくてはなりません。
詳細はFAQを参照してください。(http://www.tvix.co.kr/JPN/faq/)

3.5.3 TViXのネットワーク接続設定

1) リモコンの [SETUP]ボタン押して、設定画面を表示します。画面で、ネットワークディスクのその他の設定を押し、サーバーIPのIPアドレス(例:192.168.001.127)を入力してください。
初期設定はDHCPですが、任意の固定IPをお使いになりたい場合は、IP設定で固定IPへの変更を選択出来ます。
DHCPをお使いの場合はIPアドレスは自動で割り当てられますので、手動でIPアドレスを設定する必要はありません。

2) もしDHCP設定でLAN接続出来ない場合は、固定IP設定の使用をお奨めします。

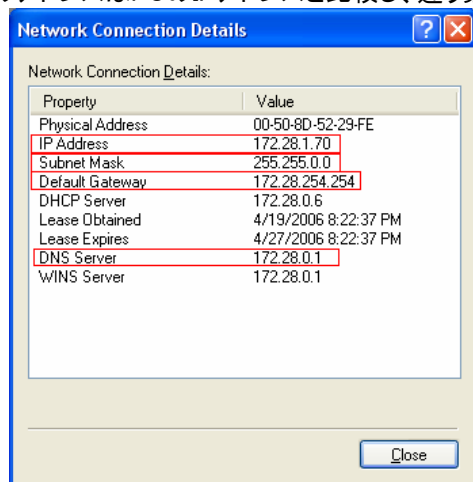
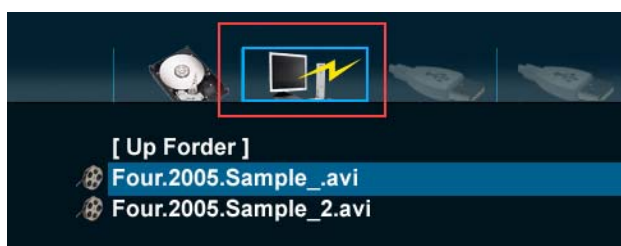
TVIX ネットワーク設定情報

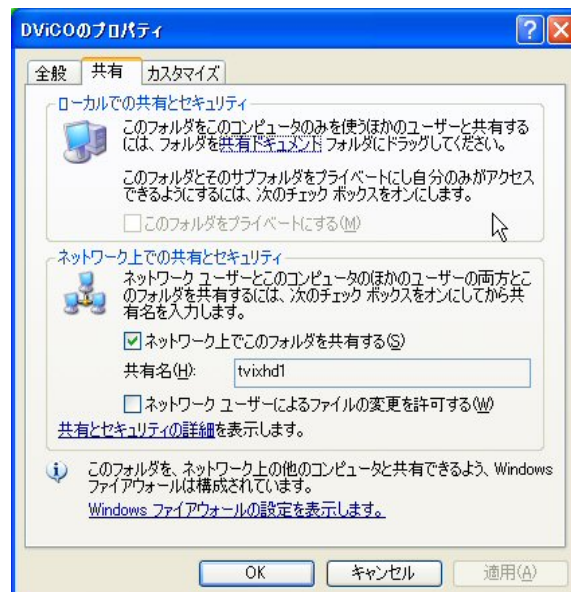
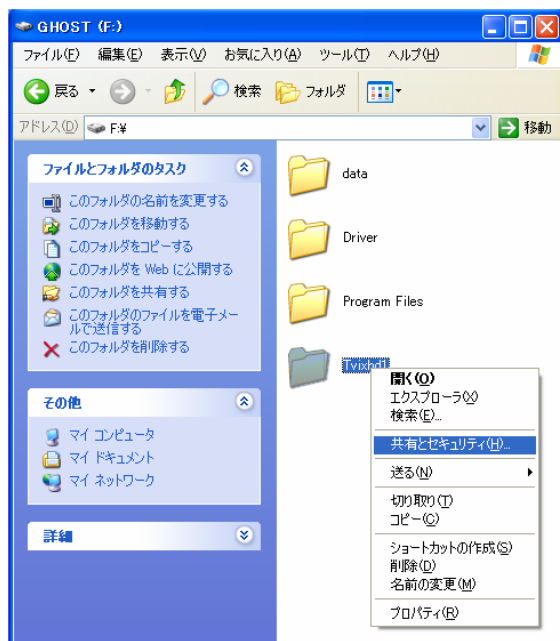
TVIX IP :	172.28.1.37
Subnet mask :	255.255.0.0
DNS server :	172.28.0.1
MAC :	00:01:04:80:08:D9

3)「コントロールパネル」から「ネットワーク接続」ダブルクリック、ローカル接続のアイコンを右クリックし、「状態」を選択します。「サポート」のタブを選択し、「詳細」をクリックするとネットワーク接続の詳細を確認出来ます。IPアドレス、サブネットマスク(Subnet Mask)、デフォルトゲートウェイ(Gateway)、DNSサーバー(DNS Server)のアドレスをそれぞれ書き取ってください。下の挿絵のように異なるIPアドレスを書き取ります。(例:172.28.1.70 172.28.1.168)
4番目のアドレスはPCのIPアドレスと比較し、違う数値になります。

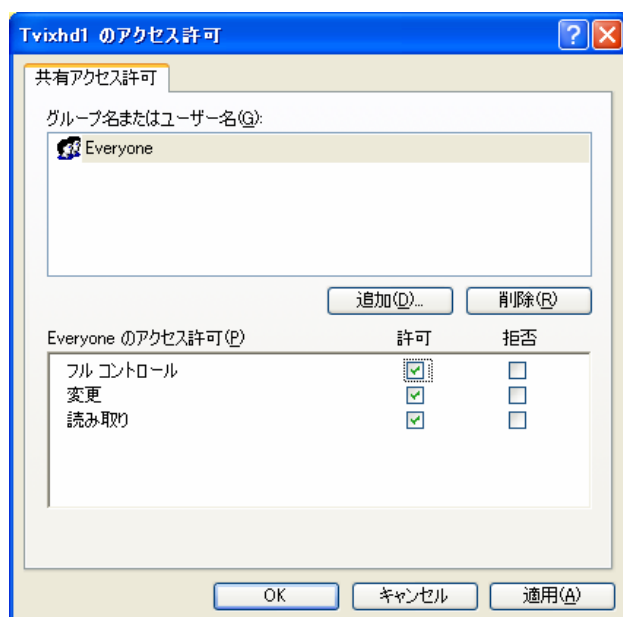
Network Connection Details

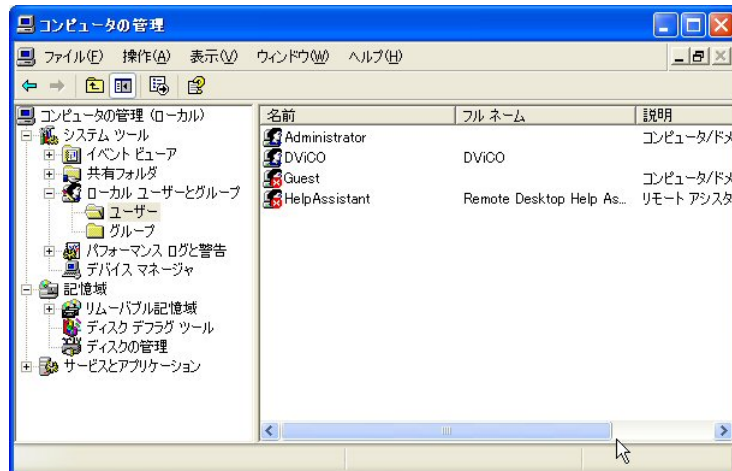
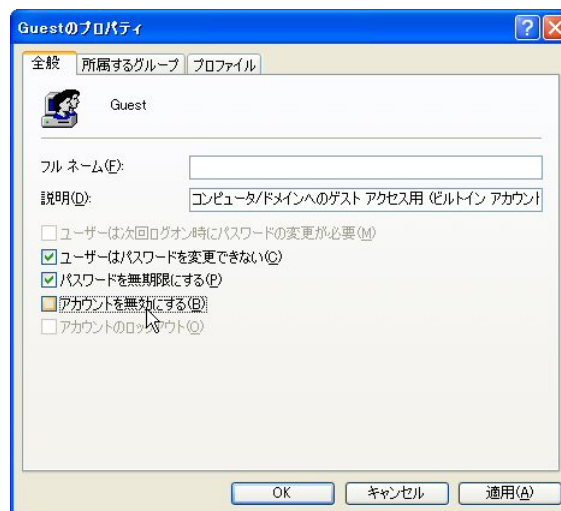
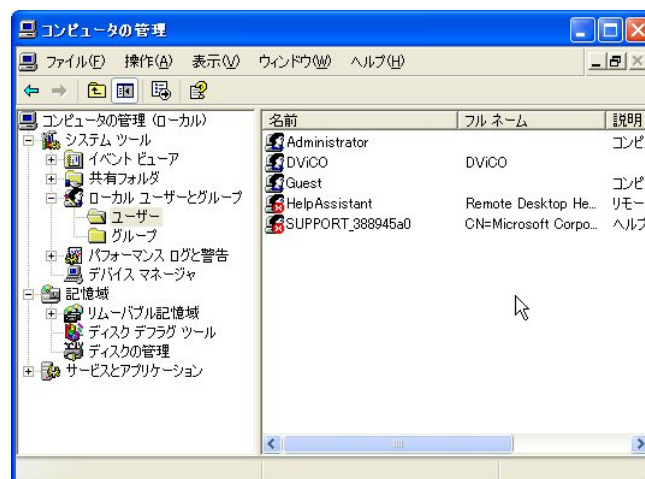
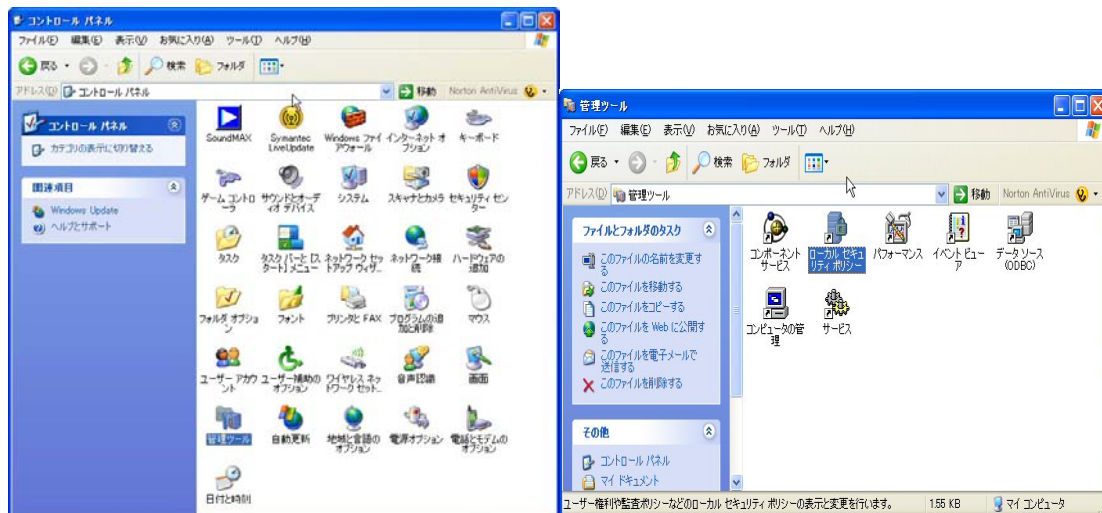
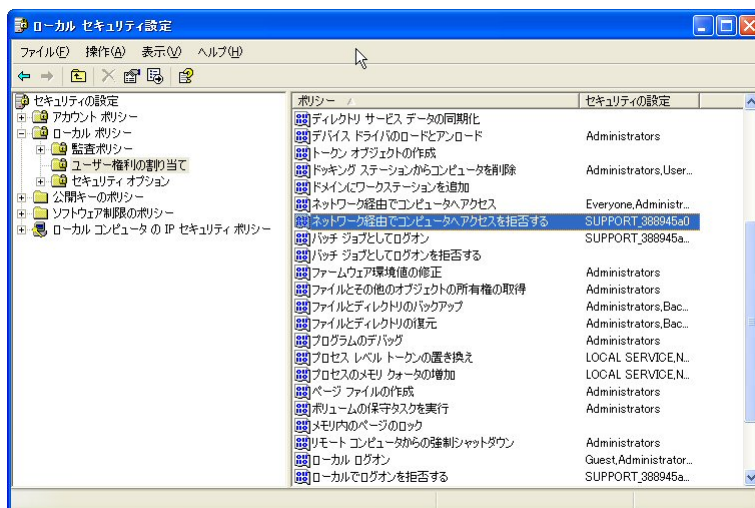
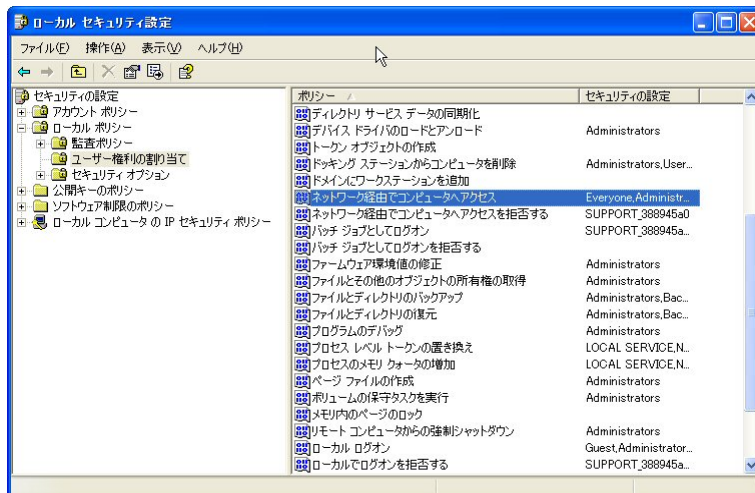
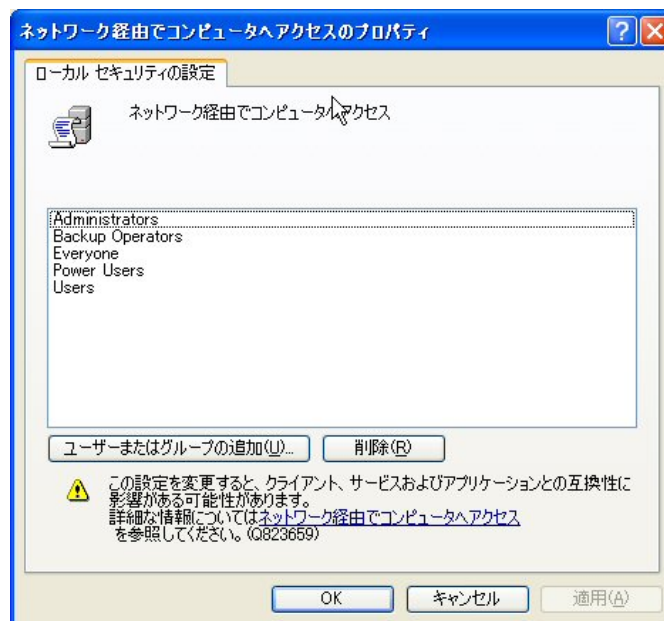
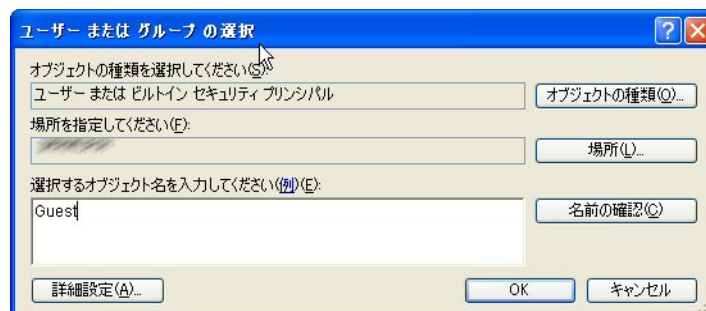
Network Connection Details:

Property	Value
Physical Address	00-50-8D-52-29-FE
IP Address	172.28.1.70
Subnet Mask	255.255.0.0
Default Gateway	172.28.254.254
DHCP Server	172.28.0.6
Lease Obtained	4/19/2006 8:22:37 PM
Lease Expires	4/27/2006 8:22:37 PM
DNS Server	172.28.0.1
WINS Server	172.28.0.1

Close

4) 設定が正常に終わると、共有フォルダが表示されます。

5) 詳しい使い方はTViX (http://www.tvix.co.kr/JPN/Default.aspx)のホームページをご覧ください。

3.5.4 SAMBAでのネットワーク設定（PC側の設定）

1） 共有したいフォルダを選択してください。そのフォルダを右クリックし、「共有とセキュリティ」をクリックしてください。

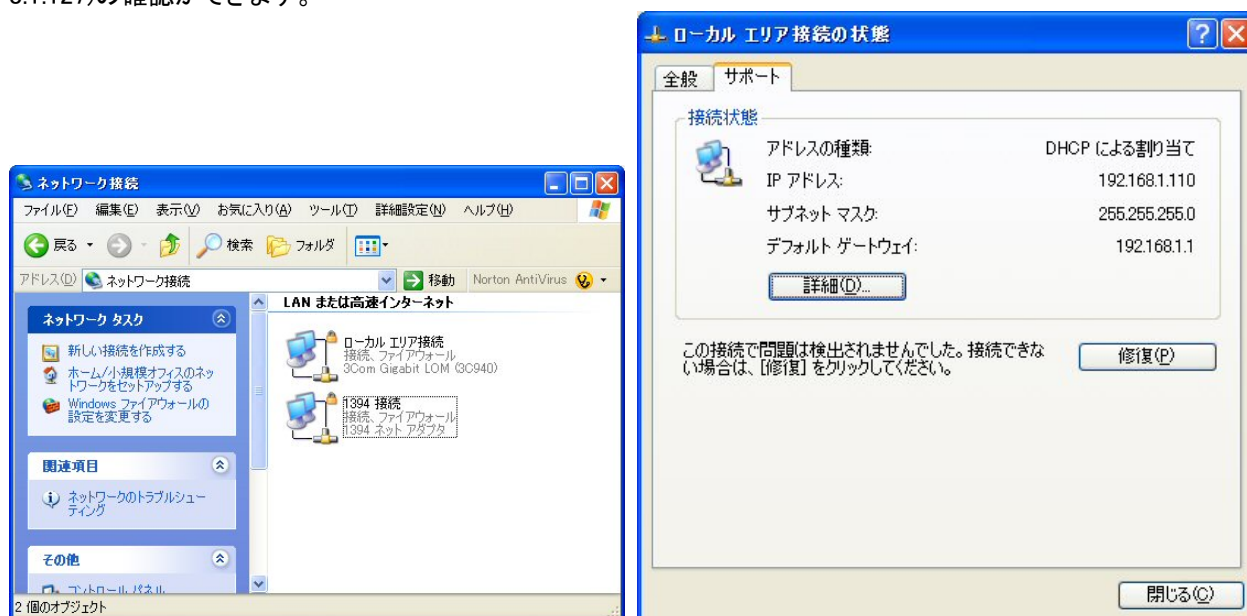
2） ネットワーク上の「このフォルダを共有する」を選択し、「tvixhd1」と名前を入力してください。SAMBAで共有を行う場合はフォルダ名を必ず「tvixhd1」としてください。

3） Windowsの設定「簡易フォルダ共有を有効にする（推奨）」が解除されている場合はフォルダに対するアクセス権を設定する必要があります。グループまたはユーザー名にEveryoneを含め、全ての権限を許可に変更してください。（「簡易フォルダ共有を有効にする（推奨）」の設定はツールメニューから「フォルダオプション」－「表示」を選択することで設定が可能です。）

4) 「設定」-「コントロールパネル」-「管理ツール」-「コンピューターの管理」-「ローカルユーザとグループ」-「ユーザー」で、「Guest」をダブルクリックしてください。

5) 「アカウントを無効にする」のチェックを外してください。

6) 「Guest」アカウントは以下の図のように表示されます。(赤のXマークは「Guest」ではありません)

7) 「コントロールパネル」－「管理ツール」-「ローカルセキュリティポリシー」のプロパティを
右クリックで選択します。

8) 「ユーザー権利の割り当て」-「ネットワーク経由でコンピュータへのアクセスを拒否する」オプションで、「Guest」を削除します。

9) 「ネットワーク経由でコンピュータへアクセス」で右クリックで「プロパティ」を選択するか、ダブルクリックします。

10) 「ユーザーまたはグループの追加」をクリックしてください。

11) 「Guest」と入力して「OK」ボタンを押してください。.

12) 「OK」ボタンを押すと、ゲストが登録されます。

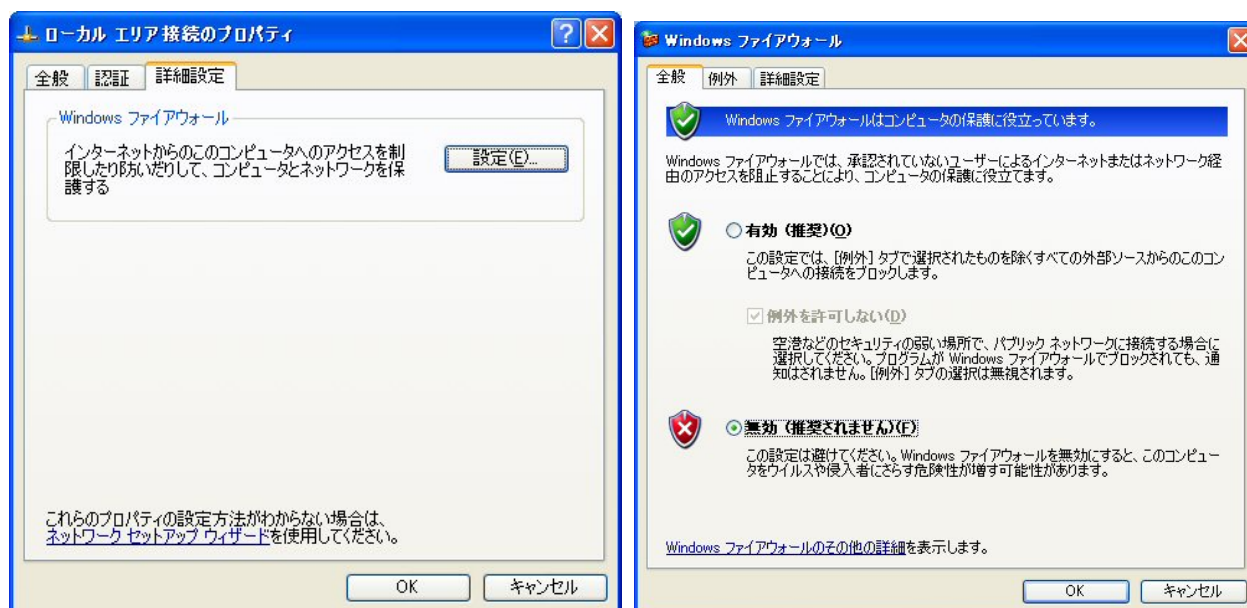
ご注意
上記説明はWindows XP Professionalでの設定方法です。Windows XP Homeをお使いの方は、本説明書どおりウインドウが表示されない場合があります。また、コントロールパネルで「管理ツール」が見つからない場合は、画面の左角にある「クラッシック表示に切り替える」をクリックして探してください。ファイル、フォルダ共有の詳しい説明はWindowsのヘルプを参照してください。

< IPルーター、ハブへの接続 >

ダイナミックIPアドレスがDHCPサーバーや、ルーターがLANからIPアドレスを取得している場合は、固定IPアドレスを入力する必要はありません。「DHCPサーバーから IPアドレスを取得する」を使い、DHCPサーバーや、ルーターからIPアドレスとサブネットマスクを入力してください。

「コントロールパネル」－「ネットワークの接続」で「状態」のプロパティを右クリックで表示します。IPアドレス(例：192.168.1.127)の確認ができます。

< Windowsでファイアウォールを無効にする >

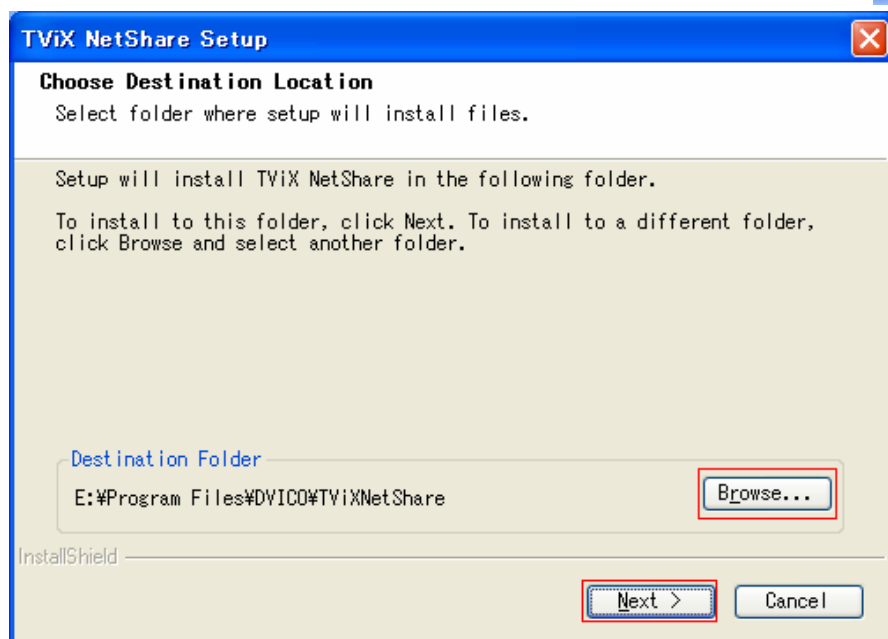
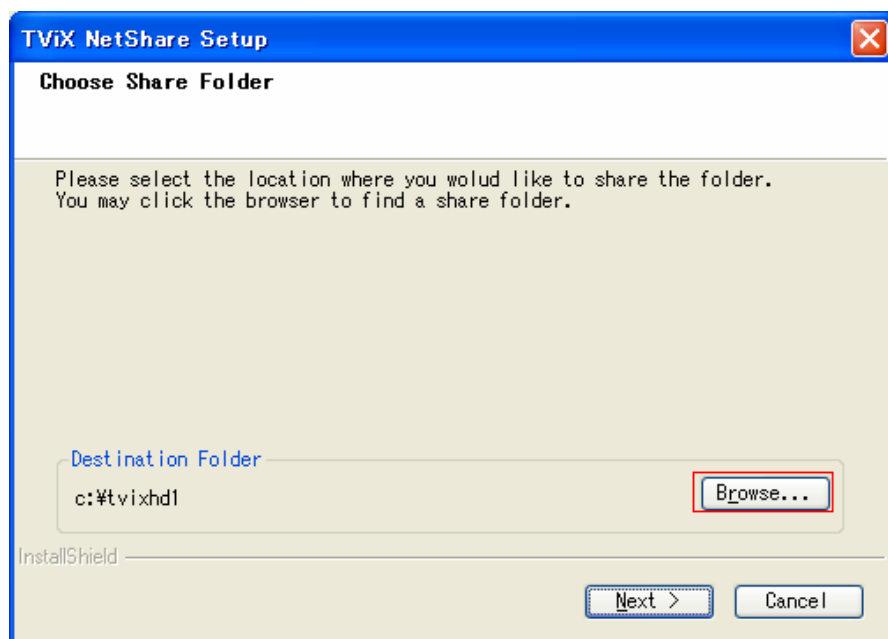
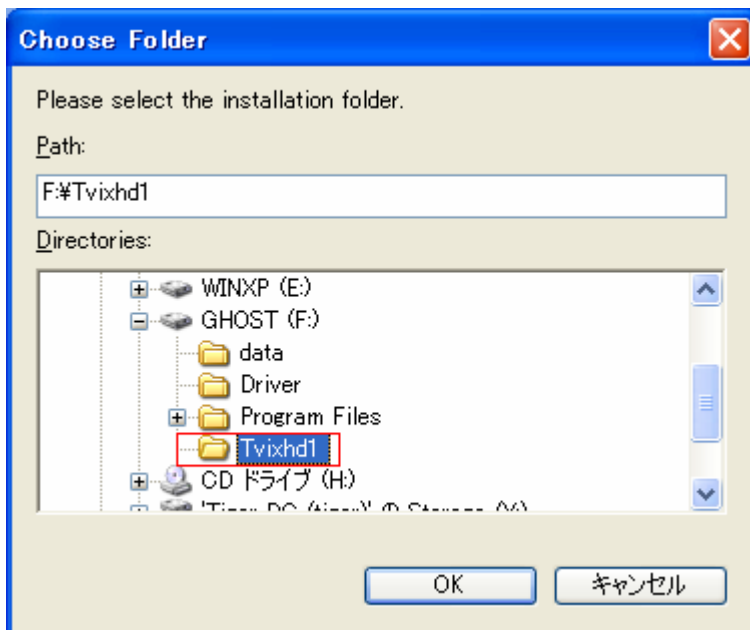
1) 「コントロールパネル」－「ネットワーク接続」を右クリックし「プロパティ」を選択します。「詳細」タブの「インターネットファイアウォール」を無効にします。

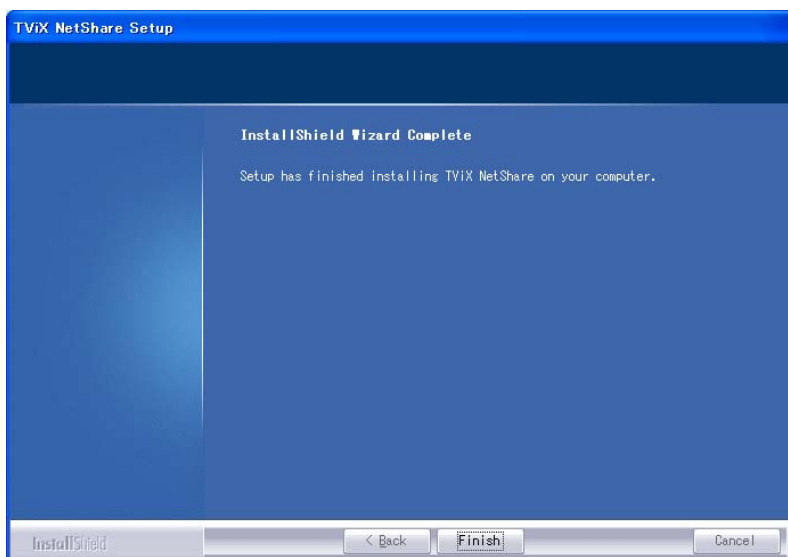
2) Windows Service Pack 2をお使いの場合は、「Windowsファイアウォール」で「詳細」をクリックしてください。
3) 「無効（推奨されません）」を選択し、「OK」をクリックします。

※ウィルス監視ソフト及びファイアウォールソフトを別途インストールしている場合で、TViXからのアクセスに失敗する場合はそれぞれのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

3.5.5 NFSでのネットワーク設定（PC側）

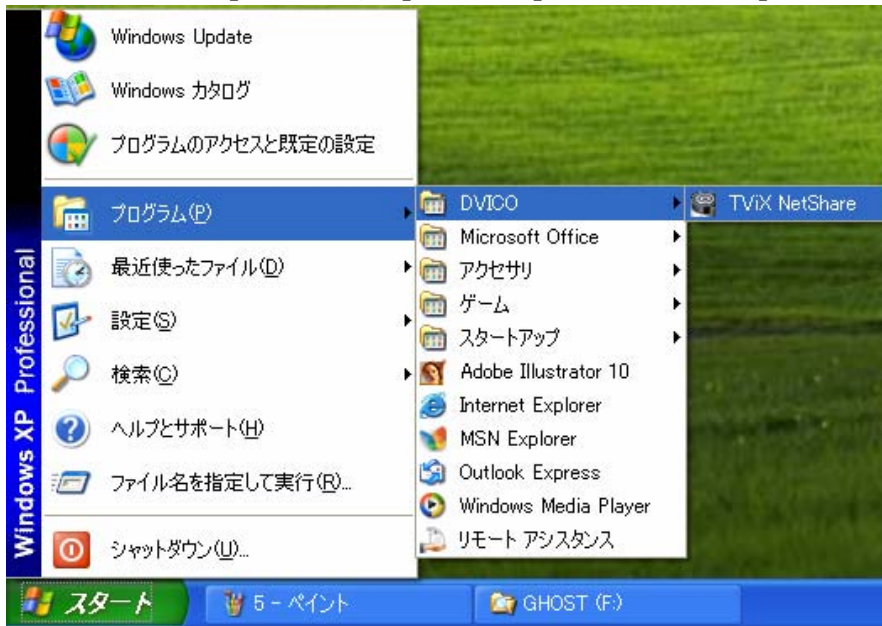
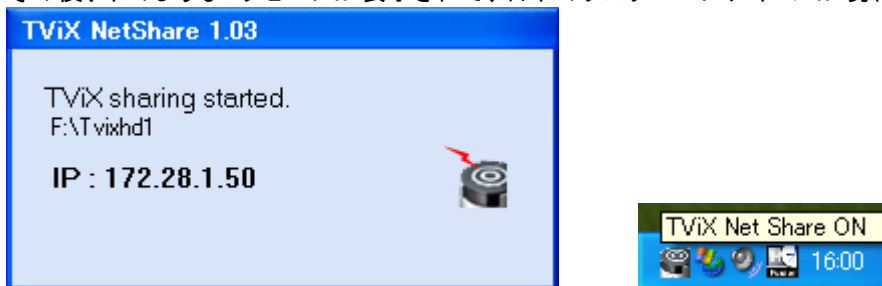
NFSでの設定を行うにはソフトウェア「NetShare」をインストールする必要があります。

● NetShareのインストール

1）先ず、ホームページ(http://www.tvix.co.kr/jpn/support/EtcDrivers.aspx）でTViX NetShare_1.07.exe(又は最新バージョン)ファイルをダウンロードして、インストールしてください。

2）インストールファイルをクリックするとソフトのインストールする場所を問うウインドウが現れますので、
フォルダ位置を指定してください。(基本設定にしても問題ありません。)

3）TViXの共有フォルダを指定するウインドウが現れます。
「Browse」ボタンをクリックした後、共有するフォルダを指定してください。この時、ドライブ名、共有フォルダなどの制約は次ページの図ようにルートディレクトリ以外には問題ありません。

※ ドライブのルートディレクトリ、すなわちC:￥またD:￥などの共有は現在のバージョンでは対応できません。
ルートディレクトリの下にフォルダを作り、ここに他の全てのフォルダを入れ、使用してください。

4）共有フォルダの指定が終わると図のようなダイアログ画面が現れ、「はい（Y）」をクリックするとインストール終了と共にTViX NetShareが起動されます。

5）インストールの終了後、「Finish」ボタンを押してください。

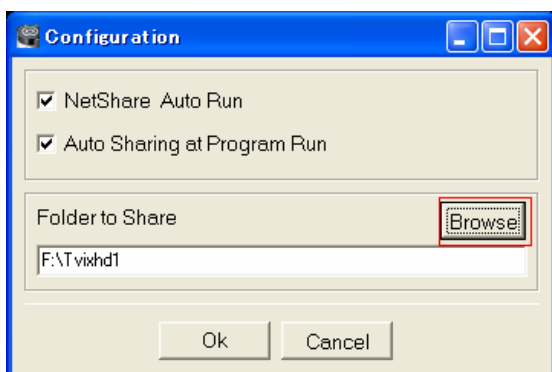
● NetShareの起動

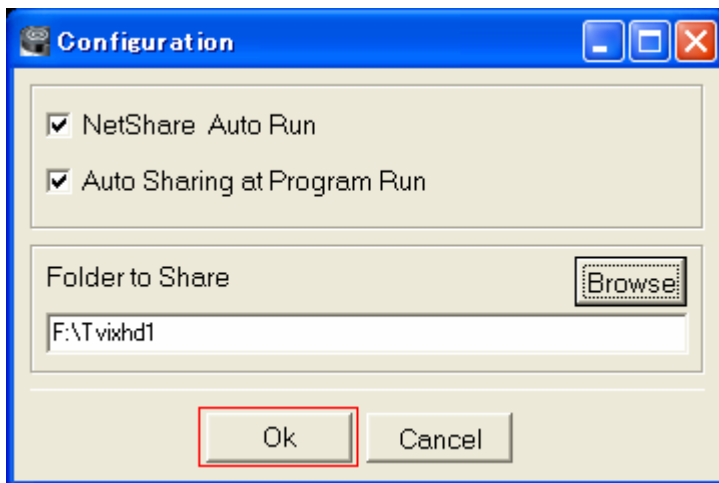
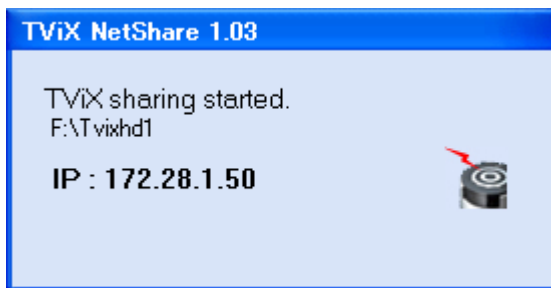
Windowsの「スタート」→「プログラム」→「DVICO」→「TViX NetShare」でNetShareを起動します。

その後、下のようなメッセージが表示されて、右下のタスクバーにアイコンが現れます。

アイコンを右クリックするとTViX NetShare のサブメニューが現れます。

先ず、TViXと共有する共有フォルダを指定してください.
SAMBAモードではドライブに関係無く共有フォルダ名が常にtvixhd1である必要がありましたが、NFSサーバモードではドライブ名、フォルダ名、そして共有設定などに関係なく**ユーザー指定の共有フォルダ**方式ですので、必ずしもフォルダ名の「tvixhd1」である必要はありません。

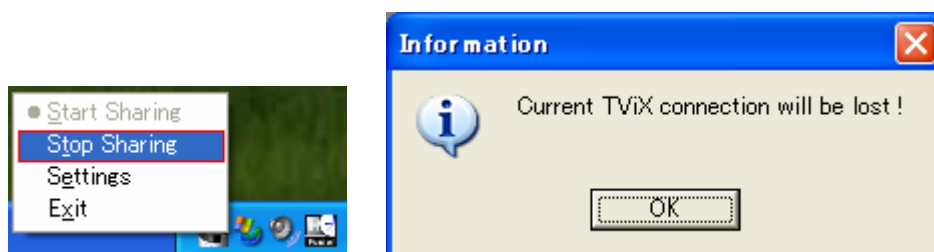
以降の例ではSAMBAとNFSの両方で共有するために、共有フォルダ名を「tvixhd1」に設定しました。

1）システムトレイにあるNetShareアイコンにマウスのカーソルを位置してクリックします。

＊ 追加オプション
－ 自動実行(Windows起動)
（Windowsの起動時、 NetShareを自動実行）
－ 自動共有スタート
（NetShare 起動時、自動的に共有スタート）

2）「Browse」をクリックし、共有するフォルダを選択し「OK」をクリックしてください。

3）フォルダを指定し、「OK」をクリックすると共有フォルダの設定が完了します。

4) フォルダ指定の完了後、タスクトレイのアイコンから共有スタートメニューを選択すると下のメッセージと共に共有を開始します。

ご注意！

TViXがネットワークに接続された状態で、NetShareを中止すると以下のようなメッセージが出力されます。

この時、TViXのネットワークディスクのフォルダを選択するとローカルHDDに移動されますが、ネットワークディスクのファイルを選択するとそのままネットワークディスクに位置されます。

TViXとPCの接続状態で、PC上のNetShareを先に終了させる場合には、先ず停止(Stop Sharing)又は終了(Exit)を選択してください。

この時、TViXに表示される以前のファイルリストは有効ではありません。ネットワークドライブをもう一度指定しなければなりません。

PCの共有フォルダの指定を変更する場合にも、先ず、PCのTViX NetShareをStop Sharing -> 新しいフォルダの指定-> Start Sharing を行った後、TViXではJUMPボタンを使ってネットワークドライブを再び探してください。

4　TViX 設定メニュー

4.1 オーディオ/ビデオの設定

※設定メニューはSETUPボタンで表示されます。

この章ではオーディオとビデオの設定について説明します。

各種設定を保護する為のパスワードによるロックが使用できます。詳しくは24ページの「4.2 その他の設定」の「安全ロック」の項をご参照ください。

＊ **オーディオ** ： 使用されているオーディオコーデック毎に出力方式を設定出来ます。
－ オーディオ出力をデジタルに設定している場合は、DTSとWMAをデジタル、又は、アナログに出力を設定出来ます。
－ 出力機器がサポートする出力形態にあわせて設定を行ってください。

＊ **アナログ(PCM)** ： 音声をステレオRCAケーブル(赤と白のケーブル)につなぐ場合に選択してください。

＊ **デジタル**: デジタル音声接続用の光デジタルコード又は、同軸コードをデコーダ/アンプにつなぐ場合、これを選択してください。TViXのアナログ音声ポートからはアナログ音声出力はありません。

＊ **TV方式** ： TViXのデフォルトビデオ設定は、コンポジット (NTSC/S-VIDEOまたはPAL C/S-VIDEO)です。これは一般的な設定で、ほとんどのテレビで動作します。

＊ **NTSC/PAL 自動切換え** ： ビデオ出力のNTSC/PALに変更があった場合、この機能が動作し自動で対処します。

＊ **TVタイプ** ： 4:3 レターボックス 4:3 パン&スキャンがついた一般のTVにつないだ時に設定します。16:9はHDTVかプラズマTVなどのワイドTVにつないだ時に設定します。

－ 4:3レターボックス：16:9のワイド画像は横長のまま表示されます。

－ 4:3パン&スキャン：16:9のワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

－ 16:9：16:9のワイド画像をそのままの大きさで表示します。

＊ **ビデオ端子** ： 出力するビデオ端子の設定（コンポジット/S-VIDEO）（コンポーネント/DVI）が行えます。

本体とテレビの電源を入れた後、TViXの初期画面が表示されない場合は、リモコンのTV Outボタンを、何度か押して正しいTV出力オプションが選択されているかを確認してください。NTSCはC/YPbPr(480i)になります。PALの場合は特別な場合ですが、C/YPbPr(576i)になります。お手持ちのテレビがコンポーネント出力でTViXにつないだ場合これらに設定してください。

＊ **ビデオ出力** ： コンポーネント(YPbPr)ケーブルを通してビデオをつなぐ場合に選択してください。480P/720P/1080iの中の出力解像度を選択することができます。1080iに設定するとすべてのHDTVで動作します。

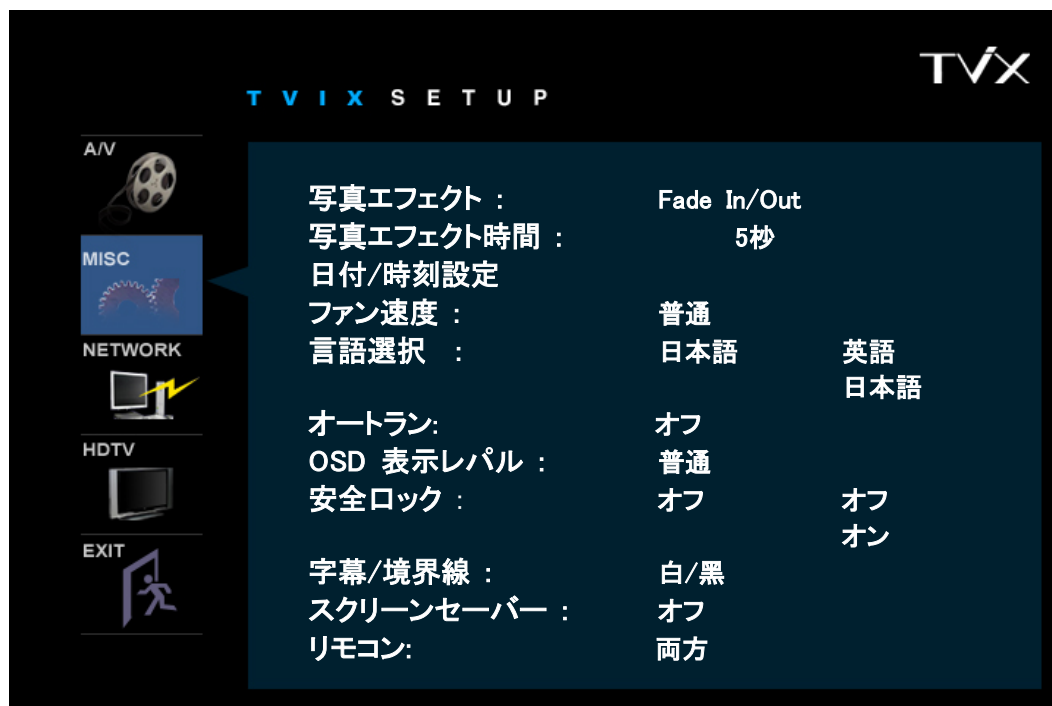
＊ **ビデオ出力解像度** ： YPbPr ： 480i/576i, 480P/576P, 720P, 1080I,1080P(DVI)

RGB （DSUB）： 480P/576P, 720P, 1080I, 1080P(DVI), 640*480, 800*600, 1024*768, 1280*1024

ビデオ出力を適用する ： 設定が終わった後、「OK」ボタンを押して、ビデオ出力の方法を保存します。

設定を途中で終了したい場合は、EXIT(EXIT)ボタンを選択し、リモコンの「OK」ボタンを押してください。

4.2 その他の設定

この章ではMISCボタンを使ってその他の設定をします。

＊ **写真エフェクト** ： スライドショーの上映中にBGMを設定することができます。

＊ **写真エフェクト時間** ： スライドを表示する時間を設定出来ます。(0～60秒)

＊ **日付/時刻設定** ： 液晶パネルに表示される時間を矢印キーと数字キーを使って設定できます。

＊ **ファン速度** ： お好みのファンの速度が選択できます。通常の速さに設定されることをお薦めします。

＊ **言語選択** ： 言語を選択します。

＊ **オートラン** ： ディスプレイやTVに画面表示を行わなくてもオーディオファイルを再生出来ます。「ランダム」を選ぶと曲をランダムで再生します。(Off-ランダム再生-リピート-ランダム/リピート)

＊ **OSD 表示レパル** ： OSD表示の種類を選択出来ます。ノーマルモードを推奨します。

＊ **安全ロック** ： SETUPメニュー上でパスワード「1111」を使用し、セーフティーロック機能を使用出来ます。

＊ **字幕/境界線** ： 字幕文字の色とその輪郭線の色を変えられます。

＊ **スクリーンセーバー** ： ルートディレクトリに「tvix_ss.jpg」と言う名前で JPEG 画像ファイル(160 ＊ 160)を置いておけば、2－3分後にそれが表示されます。
＊ **リモコン**: 両方設定されることをお薦めします。

4.3 ネットワーク設定

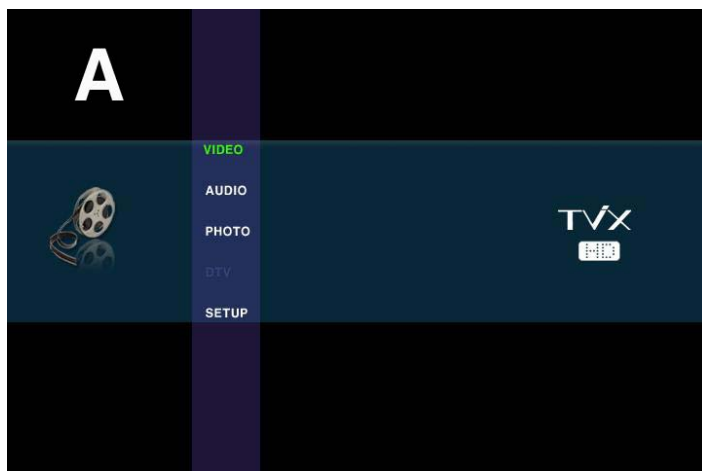
この章ではMISCボタンを使ってその他の設定をします。

＊ **IP 設定** ： 初期設定はDHCPです。LANを介してDHCPでアクセス出来ない場合は、固定IP設定を使用してください。
TViX HDのネットワーク設定の仕方を参照して下さい。

＊ **ネットワークディスク**: サーバーIPアドレスにPCのIPアドレスを入力してください。(例：192.168.001.128). ４基までのネットワークディスクをサポートします。
TViX4000シリーズでは2種類のファイル共有システムがあります。一つはSAMBAでもう一つはNFSです。
-SAMBA：特別なプログラムなどを必要とせずにネットワーク越しにファイルの再生を行えますが、NFSに比べ、速度は劣ります。
-NFS：PCにTViX NetShare ユーティリティーをインストールしなくてはなりませんが、TPやDVDビデオファイルなども滑らかに再生出来ます。
NTFSでの共有を推奨します。FAT32では恒久的なファイル名を作成するのに十分な情報を格納出来ないので、ファイル名を変更するとTViXではそのファイルを読み込まなくなります。
詳細についてはホームページ(http://www.tvix.co.kr/JPN/Default.aspx)からNetShareインストーラーとマニュアルをダウンロードしてください。
数機のTViXが１機のPCにアクセスしている場合はSAMBAを使用しなくてはなりません。

＊ **TViX ネットワーク設定情報** ： TViXのネットワーク情報を確認出来ます。

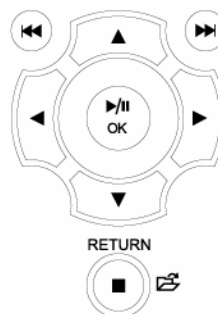
＊ **FTP パスワード** ：FTPの機能を使用する場合はこのパスワード機能を使用しなくてはなりません。
詳細はFAQを参照して下さい。(http://www.tvix.co.kr/JPN/faq/)

5 TViXの簡単なご使用方法

5.1 動画ファイルを再生する

設定が正常に終わると、図Aのような画面が表示されます。
作成したフォルダに動画ファイルをコピーし、動画ファイルを再生することができます。

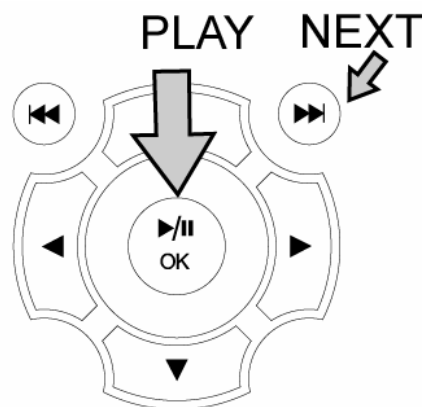
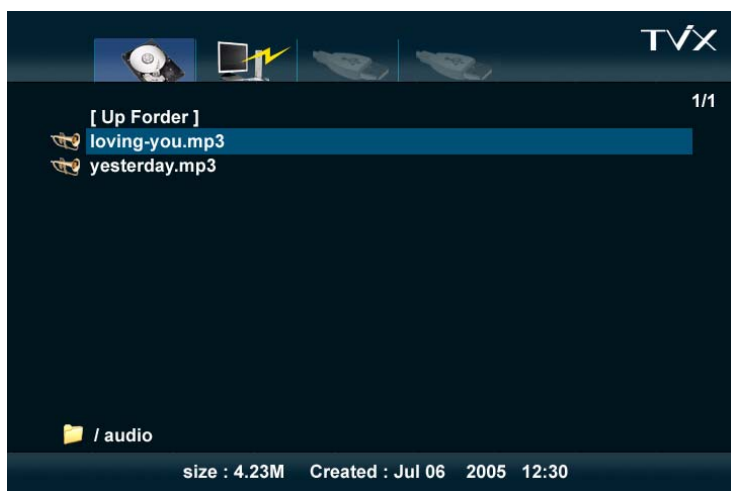
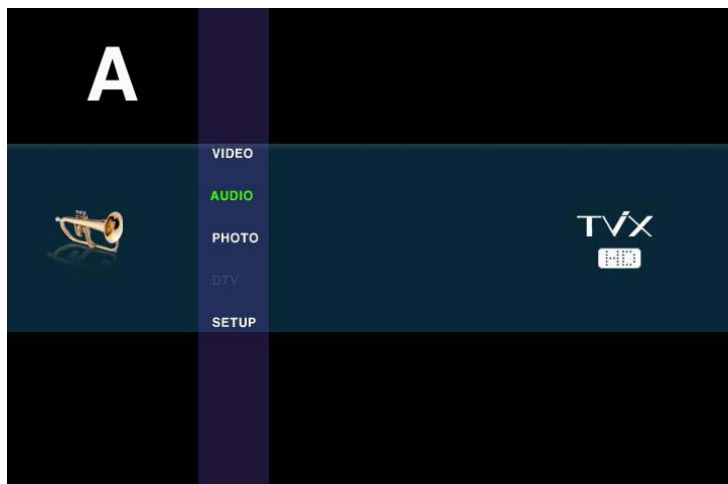
1. 設定、ビデオ、オーディオ、フォトのアイコンが表示されます。（図A）

2. 左/右ボタンを使ってVIDEOアイコンを選択してください。ハードディスクのパーティションを変更したい場合はジャンプ/繰り返しボタン押してください。

（図B）

3. 図AのVIDEOアイコンを選択し、OKボタンを押してください。

4. ビデオフォルダの中にファイルが表示されます。

5. 上/下ボタンで動画ファイルを選択できます。選択後、OKボタンを押して再生します。

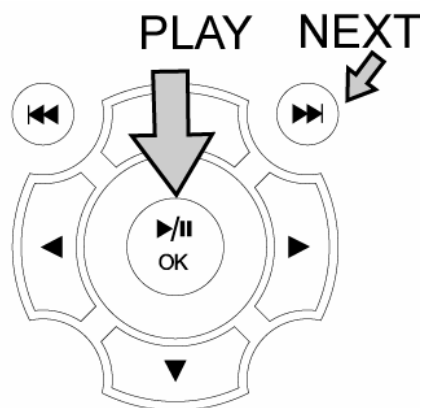
ヒント
次の動画ファイルを再生したい場合は、NEXT(>>)ボタンを押してください。

5.2 音楽ファイルを再生する

再生する前にPC上で作成したフォルダに音楽ファイルをコピーし、音楽ファイルを再生することができます。

1. 図Aのような画面が表示されない場合は、リモコンのMENUボタンを押して実行します。

2. 図AのAUDIOアイコンを選択し、OKボタンを押してください。

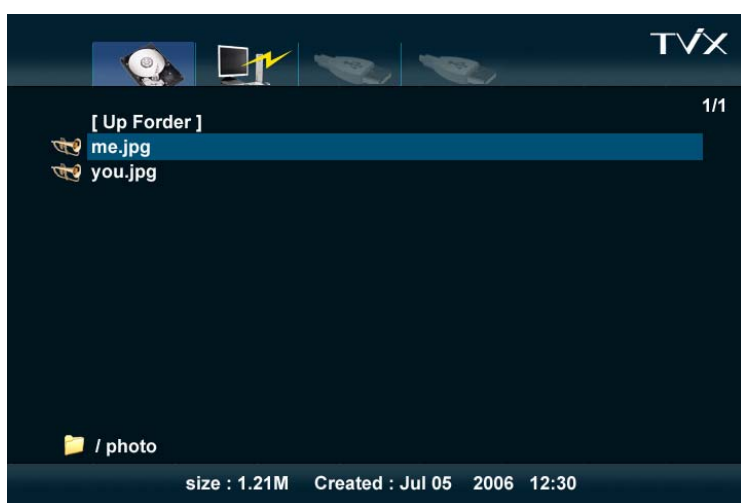
3. コピーした音楽ファイルが表示されます。

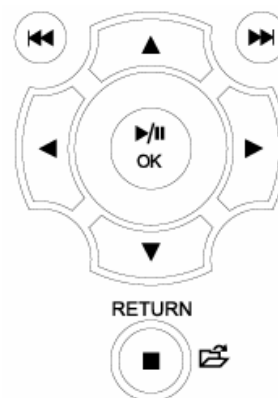
4. 上/下ボタンで音楽ファイルを選択できます。選択後、OKボタンを押して音楽ファイルを再生します。

ヒント
次のファイルを再生したい場合は、NEXT(>>)ボタンを押してください。

5.3 静止画像ファイルを再生する

再生する前にPC上で作成したフォルダに画像ファイルをコピーします。
静止画像ファイルやデジタル写真ファイルを再生することができます。

1. メニュー画面から選択せずに、リモコンのPHOTOボタンを押して実行します。

2. PHOTOボタンを押してください。

3. コピーした画像ファイルが表示されます。

4. 上/下ボタンで画像ファイルを選択できます。選択後、OKボタンを押して画像ファイルを再生します。

5. 次の画像ファイルを再生したい場合は、NEXT（>>）ボタンを押してください。

ヒント
動画ファイル、音楽ファイルも同じようにリモコンから操作できます。

5.4 ネットワーク上/USB HOSTのボリューム内のファイルを再生する

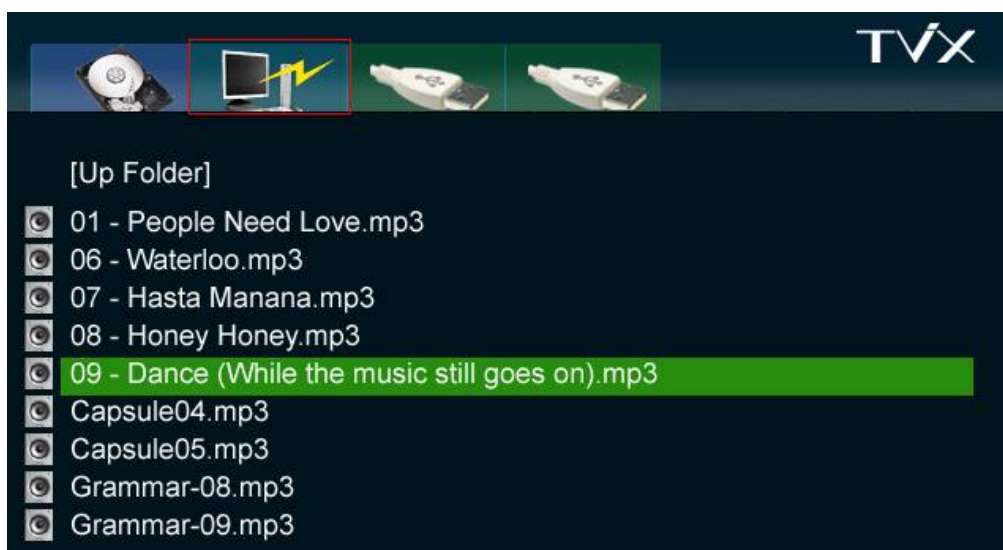
1. LANケーブルでネットワークに接続、又は、USB HOSTのポートに外付のHDDを接続すると、メニュー画面上部のアイコンがアクセス可能な表示に変わります。（灰色だったアイコンがカラー表示に変わります。）

TViXにインストールされたローカルドライブは4つのパーティションを、ネットワーク上のPCは4機までをUSB HOST1のドライブは4つのパーティションを、USB HOST2のドライブも同様に4つのパーティションをそれぞれサポートします。

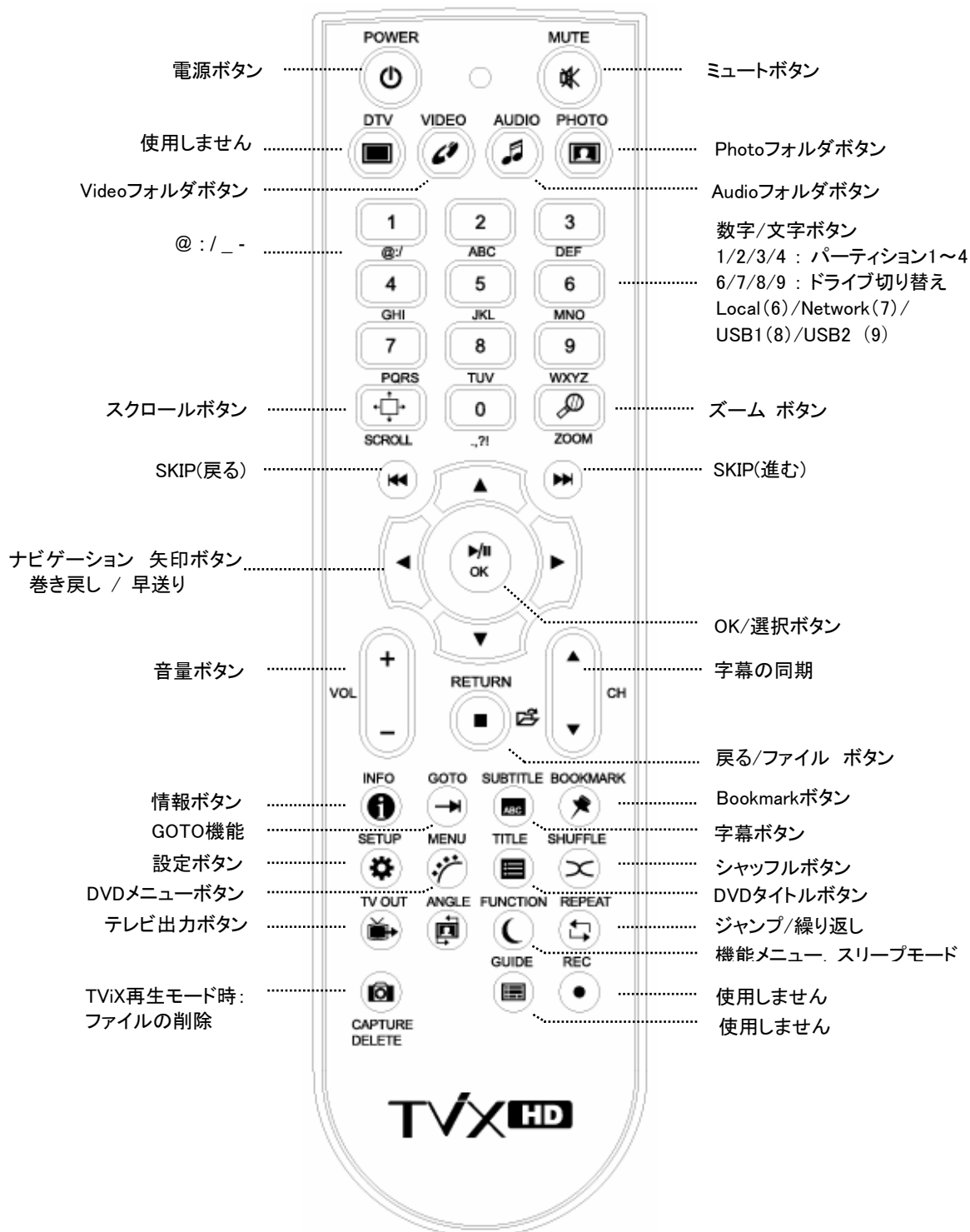
2. アクセスするボリュームの変更はリモコンの数字キーで行えます。以下のようになります。

ローカルドライブのパーティション1/2/3/4 → 数字キーのそれぞれ「1」/「2」/「3」/「4」

ローカルドライブに戻る→数字キー「6」　　ネットワーク上のPCにアクセスする→数字キー「7」

USB HOST 1にアクセスする→数字キー「8」　　USB HOST 2にアクセスする→数字キー「9」

3. 上の挿絵のようにファイルが表示されますので、上/下ボタンでカーソルを動かし、再生したいファイルを選び、「OK」ボタンを押すと再生が行えます。

6 リモコンの使い方

6.1 基本機能

< 電池交換について >

単4形電池(2本)をお使いください。

(単4形電池は付属品でついていますがリモコンの反応が悪くなった場合は別途購入ください)

6.2 各ボタンの名称

マルチメディアファイルを再生する

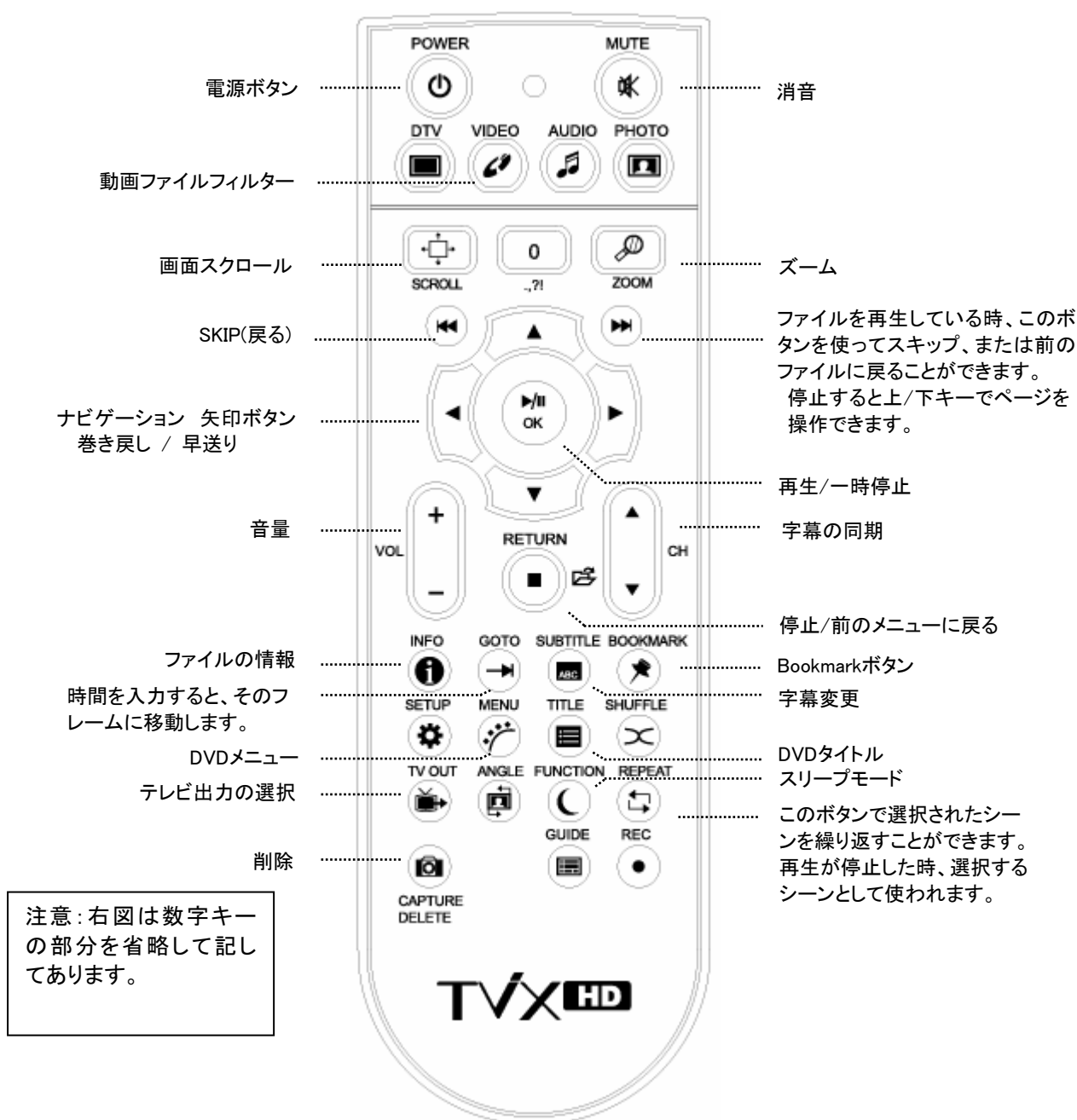
再生したいファイルを選択し、OKボタンを押して再生します。

ハードディスクドライブからコピーしたDVDファイルについては、VIDEO_TS.IFOファイルをカーソルで選び、OKボタンを押してください。

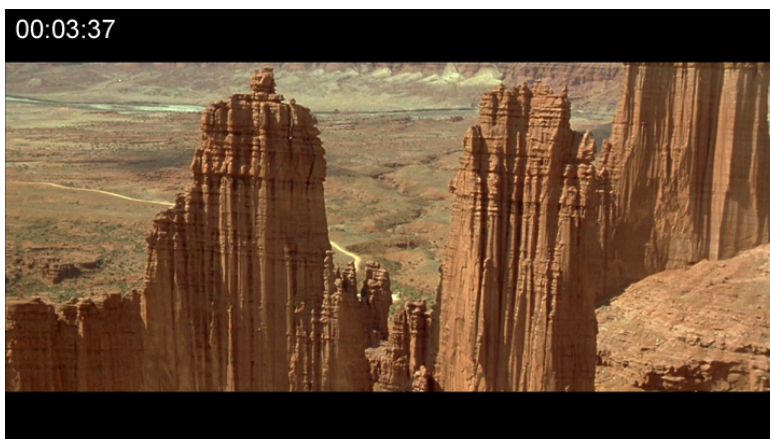
通常のDVDプレーヤーと同じようにDVDナビゲーション機能が使えます。

6.2.1 ビデオの再生

リモコンのVIDEOボタンを押した時TViXのVIDEOフォルダが表示されます。これはパーティションが他にある場合、現在動作しているパーティションのみで動作します。
リモコンの**ジャンプ/繰り返し**ボタンを押した場合、他の入力情報を選択することができます。

注意：右図は数字キーの部分を省略して記してあります。

<ご注意>

- 情報ボタン
  - １回押した場合：ファイルのコンテンツ情報が表示されます。

  - ２回押した場合：再生経過時間が表示されます。（再生経過時間表示は画面の左上の角に表示されます）

  - ３回押すー残りの時間を表示します。
  - ４回押すー情報表示を消します。
  - ファイルを再生していない時に「INFO」ボタンを押すとHDDの残りの容量を表示します。

- 字幕ボタン ：
  - この字幕ボタンはSMI多重字幕コントロールをサポートします。
  - 1回押した場合：字幕がOSDに表示されます。+/−のチャンネルボタンを使って字幕を変更します。
  - 字幕の文字サイズは設定メニューで設定できます。
  - SUB(ビットマップ)と.idxのフォーマットの字幕ファイルがサポートされています。
  - PALの.SUB字幕フォーマットはこのバージョンではサポートされません。
  - リモコンの「TITLE」ボタン（MENUボタンの隣）で字幕選択モードになります。フォルダやファイルを確認して必要な字幕ファイルを「OK」ボタンで選びます。
  - CH +/−ボタンで字幕の同調を変える事が出来ます。

- ズームボタン ：
  - 1回押した場合：画面がズーム（拡大）されます。矢印のボタンを押して画面のサイズを変えることができます。
  - 2回押した場合：全画面になります。
  - 3回押した場合：パンスキャンの全画面になります。
  - 4回押した場合：ズームが終了します。

● 「DELETE」ボタン ： TViXのローカルハードディスクのファイルやフォルダを消去するのに使用します。SETUPメニューでリモコンをロックする設定をしている場合、パスワード(「1111」)を入力してファイルを削除します。 ファイルやフォルダを消去する場合、「チェックディスク」を定期的に行ってください。チェックディスクが必要な場合TViXプレーヤーが以下のメッセージを表示します。

● ブックマーク :再生を停止すると停止位置が自動的に保存され、リモコンの「ブックマーク」ボタンを押すと、次回再生するときに、その位置から再生をすることができます。
● スリープ機能が組み込まれました。
  - リモコンの「FUNCTION」ボタンを繰り返し押す事でスリープに入る時間を設定出来ます。
  - 電源が切れる30秒前に「SLEEP ON」のサインが点滅します。
● GOTO機能を使用すると再生したいタイムフレームへジャンプ出来ます。

● 画質の調整. コントラスト＞明るさ＞鮮やかさ
● 巻き戻し/早送りボタン
  • AVI: 4X → 8X →16X → 32X.
  • DVD ジュークボックスキー ： 2X → 4X → 8X →16X → 32X → 64X.

＊ VIDEOボタンは、TViXにあるファイル中にあるビデオファイルのみフィルタします。

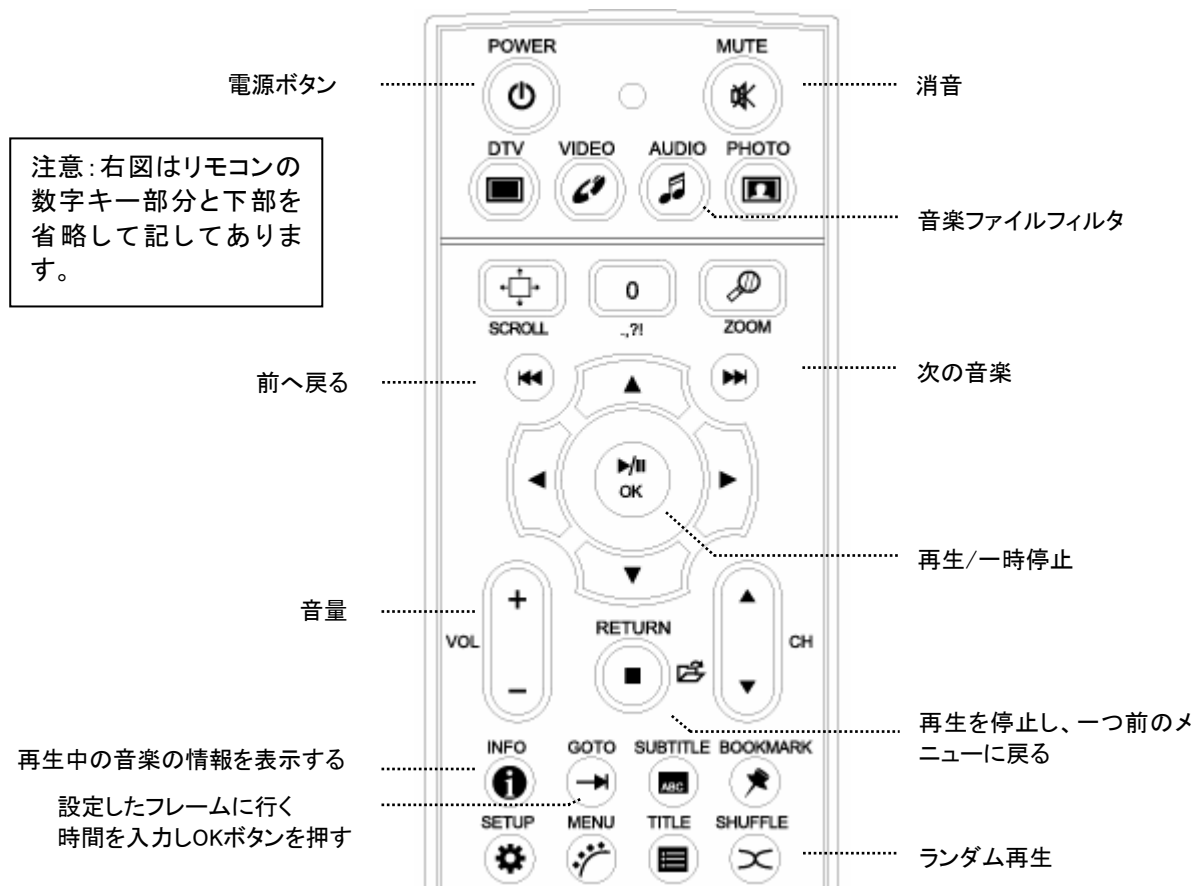
ヒント
＊ ８つファイルで、それぞれ１個づつブックマークが保存されるように改善されました。
＊ AVI、MPG、VOB、CAT、M2Pビデオファイルフォーマットがレジューム再生できます。
＊ パスワードで設定されたフォルダを含んだビデオファイルは保存されません
＊ 同じファイルをレジューム再生する時、最後に再生された位置がブックマークとなって保存されます。
＊ ブックマークリストの中で、ハードディスクから削除されたファイルはブックマークリストから自動的に削除されます。
＊ USBホスト又はLANモードでお使いの場合、ブックマークは保存されません。

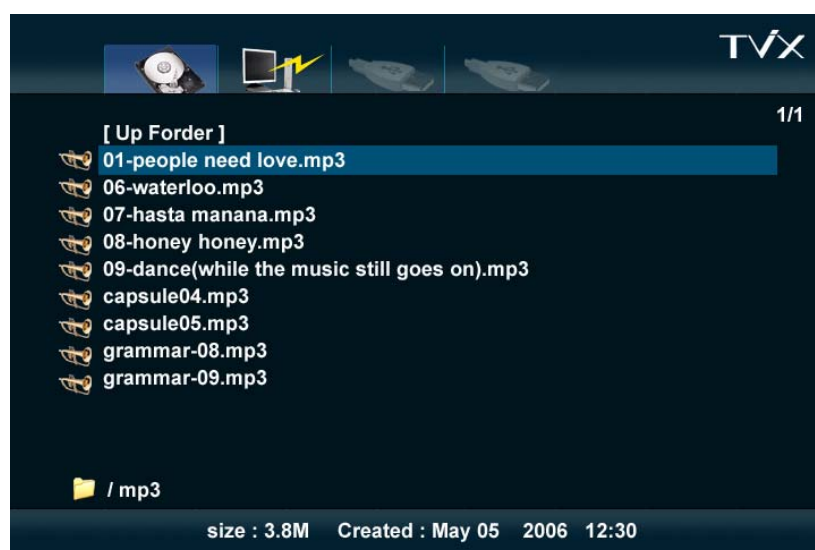
< DVD ジュークボックスキー >

● OKボタン–映像を再生している時に再生ボタンとして操作します。メニュー画面の中では選択ボタンとして操作します。
●ページダウン–次のチャプターに進みます。
●ページアップ–前のチャプターに戻ります。
●オーディオボタン–音声を変更することができます。(二重音声、Dolby、2チャンネル、5.1チャンネル、DTSなど)
●字幕–字幕メニューを表示します。
●メニューボタン–DVDメニュー画面を表示します。
●タイトルボタン–DVDタイトルメニューを表示します。
●アングルボタン–DVDに角度がある場合、角度を変更することができます。
●GOTOボタン–時間、チャプター、タイトルを選択することができます。選択した後、直接再生できます。
●数字+OKボタン–直接その数字のチャプターにいきます。

**「PICTURE」と「音声　大/小」の操作はビデオの操作と同じです。

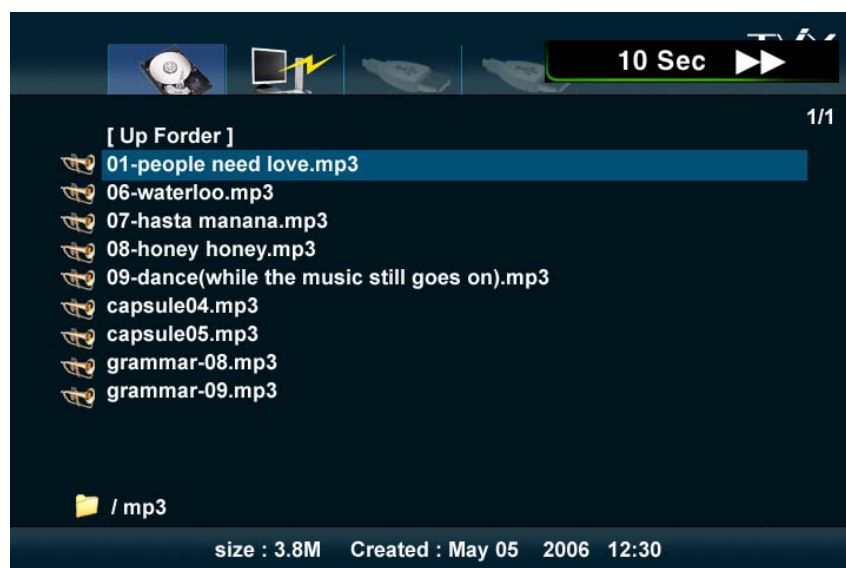
6.2.2 音楽の再生

リモコンのAUDIOボタンを押した時TViXのAUDIOフォルダが表示されます。これはパーティションが他にある場合、現在動作しているパーティションのみで動作します。

<ご注意>

● AUDIOボタンは、TViXにあるファイル中にあるビデオファイルのみフィルタします。他にパーティションがある場合、今お使いのパーティションのみで適用されます。

● シャッフル機能 （ランダム再生）

－ 現在のディレクトリの中のファイルをランダムに再生するにはシャッフルボタンを押してください。

－ シャッフルプレイモードを終了するには再びシャッフルボタンを押します。

- WMA、WAVフォーマットの音楽ファイルの再生中には10秒単位での早送り、早戻しが行えます。

- 歌詞ファイル(.lrcファイル)について
  音楽ファイルと.lrcファイルのファイル名が同じ場合、歌詞が表示されます。

- MP3ファイルを再生するときは、ID3タグ(ID3V1)がサポートされています。
  - ID3タグ(ID3V1)を表示する場合はINFOボタンを押してください。
  - MP3ファイルに記録されているアーチスト、アルバムなどの追加情報を見ることができます。
  - OGGファイルも基本的なタグ情報を表示します。

- 「XX.m4a」の拡張子をサポートします。

- リモコンの「Audio」キーを押すだけでWMVファイルのオーディオトラックを変更出来ます。

- オーディオファイルを再生している時にそのオーディオファイルがある同じフォルダ、又は「Autojpg」フォルダに画像がある場合はスライドショーが開始されます。
  - 最初に同じフォルダをチェックし、次に「Autojpg」フォルダをチェックします。
  - 同じフォルダに画像アルバムなどを入れておくと非常に便利です。

6.2.3 静止画像の再生

リモコンのPHOTOボタンを押した時TViXのPHOTOフォルダが表示されます。これはパーティションが他にある場合、現在動作しているパーティションのみで動作します。

電源ボタン

画像ファイルのみのフィルタ

画面スクロール

画面ズーム

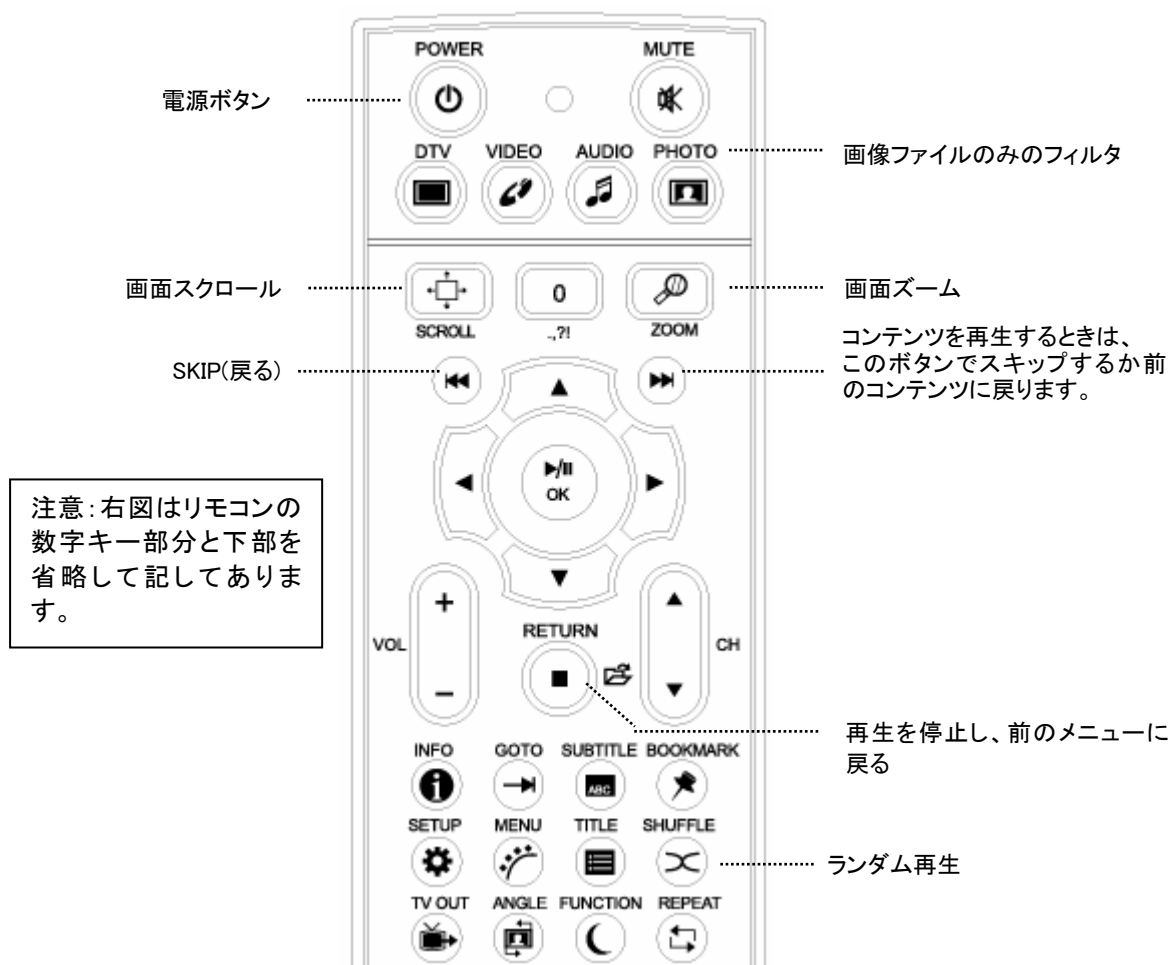
SKIP(戻る)

コンテンツを再生するときは、このボタンでスキップするか前のコンテンツに戻ります。

注意:右図はリモコンの数字キー部分と下部を省略して記してあります。

再生を停止し、前のメニューに戻る

ランダム再生

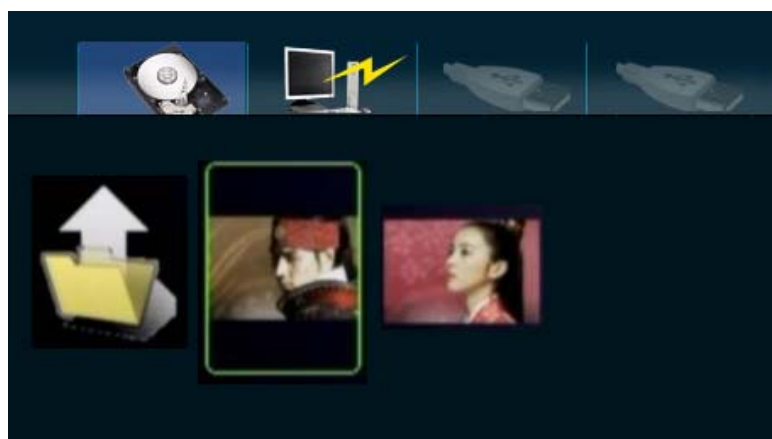
POWER MUTE DTV VIDEO AUDIO PHOTO SCROLL 0 .,?! ZOOM OK VOL RETURN CH INFO GOTO SUBTITLE BOOKMARK SETUP MENU TITLE SHUFFLE TV OUT ANGLE FUNCTION REPEAT

<ご注意>

- 設定メニューの中でスライドショーの時間間隔を設定することができます。
- ズームボタン、スクロールボタンを使って画像サイズが変更できます。

● あるフォーマットのJPEGファイルは表示されないかもしれません。

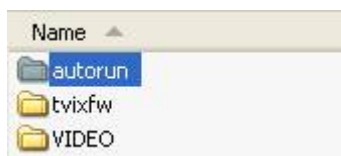
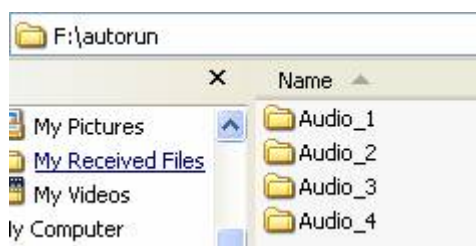
● 設定 を押すと、コントラスト→明るさ→鮮やかさの順番で表示されます。メニューでは、左/右の矢印ボタンでコントラスト、明るさ、鮮やかさを調節することができます。

● 画像を見ながらBGMを再生出来ます。
最初に「Autoaudio」又は「Automp3」フォルダをチェックし、次に現在のパーティションのルートフォルダをチェックします。
もしBGMを再生する場合、リソースの不足が原因で大きなサイズの画像は再生されない場合があります。
大きなサイズの画像を再生したい場合はBGMを再生しない事を推奨します。
3264 x 2448が現時点で再生できる最大解像度ですが、これは、BGM無しの場合です。BGM有の場合は、3072 x 2048です。

● アイコンモードでのブラウジングのサポート
アイコンでブラウズしたいフォルダに空のファイル「icon.tvix」を作成します。
拡張子が「XX.jpg」、又は「XX.png」（透明にしたい場合はアイコン作成時に透明色の設定を「0xC8C8C8」にしてください。）の場合を除き、アイコンファイルに使用するファイル名は大文字と小文字を判別しますので、正確にメディアファイルと同じファイル名にしてください。
フォルダをアイコンとして見せるにはそのフォルダに「folder.jpg」、又は「folder.png」を置いてください。
アイコンの最大サイズは 720 x 480 ですが、最適なサイズは 100 x 136です。

6.3 その他の機能

6.3.1 AutoRun機能の使い方

TViXで音楽を再生した時に画面表示をするデバイスがない場合は、これらの機能は動作しないかもしれません。

1. 基本パーティションのルートディレクトリに“autorun”の名前でフォルダ作成します。

2. “autorun”フォルダにマルチメディアファイルをコピーするか、もう一つその中にサブフォルダを作成してください。

3. 設定をを変更したい場合は、リモコンの設定ボタンを押してください。次に、「設定/その他」のタブ進んでAutoRunオプションの設定をONにしてください。 AutoRunオプションをOFFに設定すると、動作しません。「シャッフル」を選択すれば、ファイルはランダムに再生されます。

4. 設定後、TViXの電源を一度きり、また電源を入れてください。TViXは、「/HDD1/autorun」の下のサブフォルダのマルチメディアファイルを再生します。

<ご注意>

- TViXは、サブフォルダの中のファイルを最初に再生します。次に、「/HDD1/autorun」の中のファイルを再生します。TViXがすべてのマルチメディアファイルを再生した後、また繰り返して再生されます。

- WinAMP プレイリスト（ .m3u ）の使用
  ※WinAMPのPlay List file（ .m3u ）を使用しプレイリスト再生が可能です。

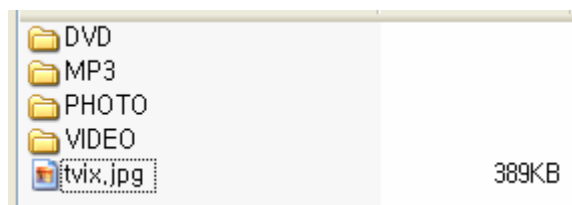
(1) TViXとPCを接続します。

(2) WinAMPでTViXにあるファイルを読み込みます。

(3) WinAMPのファイルメニューより「Save play list」を行います。
読み込んだファイルがある同じパーティションにファイルをセーブします。

(4) TViXをPCから安全にアンマウントします。

6.3.2 壁紙の使い方

壁紙の変更を行いたいフォルダの中で「tvix.jpg」と名前をつけてJPEGファイルを保存します。フォルダの壁紙が変更します。

異なるフォルダのJPEGファイルで壁紙を選択することができます。

<ヒント>

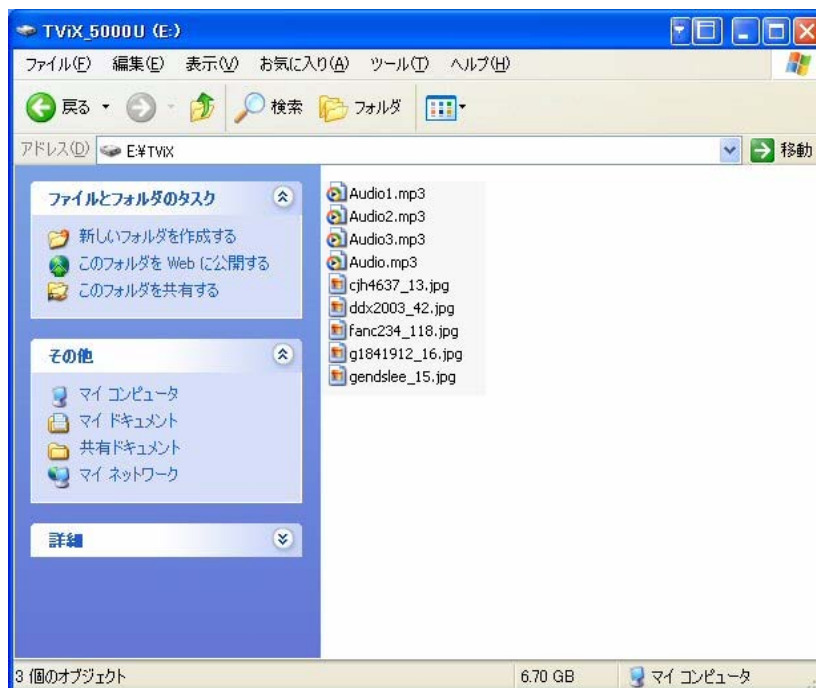
- 壁紙の変更を行いたい場合は、ルートディレクトリの下に「TViX.jpg」と名前をつけてJPEGファイルを保存します。

- ファイルの名前「TViX.jpg」は小文字、大文字どちらでも構いません。

- 720X480ピクセルが壁紙のサイズとして推奨されます。(大きなサイズは表示時間に時間がかかります)

- Windows XPで、JPEGファイルに名前を付ける時、「ツール」-「フォルダ オプション」-「表示」-「ファイル及びフォルダ」で、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外してください。JPEG fileはTViX.jpg JPGという名前になっていまい、正常に壁紙が表示されないかもしれません。

6.3.3 スライドショー上映中のBGM音楽の再生

(1) TViXのHDDでスライドショー・フォルダーを作成します。MP3と静止画像ファイル(例: スライドショー)をコピーします。

(2)スライドショーを見ている間、MP3ファイルはBGM音楽として再生できます。

ヒント

*「PLAY」ボタンでMP3音楽ファイルの再生開始後、SHUFFLEボタンを押すと、MP3ファイルだけがシャッフルプレイモードで再生されます。
* スライドショーの時間の設定は、セットアップメニュー(リモコンで「セットアップ」ボタンを押す)で設定できます。
* MP3の再生でID3 TAG(ID3V1)をサポートします。INFOボタンを押してMP3ファイルのアーチスト/アルバム情報を見ることができます。
*.lrcファイルがある場合、歌詞が自動的に表示されます。
* スライドショーで再生される推奨する画像サイズは720X480です。HDディスプレイをお使いの場合推奨する画像サイズは1024x768、1920x1080、またはそれより小さくなります。
* スライドショーの再生モード
- スライド ワンス:現在のフォルダの画像を全て再生し終えると停止します。
- スライド オフ:現在の画像を再生し、停止します。前後の画像を見るには手動で変更する必要があります。
- ループ:スライドを繰り返し再生し続けます。

6.3.4 インターネットラジオの使用方法

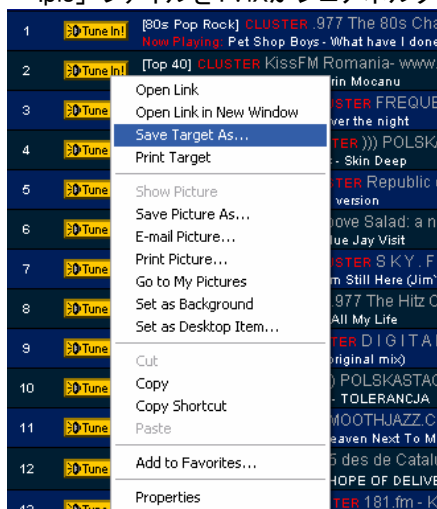
※注意事項

- TViX はネットワークに接続して下さい。
- 「.pls」 又は 「.m3u」 (WinAMPのプレイリスト) ファイルが必要となりますので予めダウンロードしておいて下さい。
- 「.pls」 又は 「.m3u」 ファイルを再生する前にネットワーク設定(DHCP 又は固定IP)を行って下さい。
- TViXは「SHOUTcast(後述)」のストリーミングフォーマットをサポートしますが、他の独自仕様のストリーミングフォーマットはサポートしません。 また、TViXは「SHOUTcast」方式に対応しており、他のプライベートサーバーでの独自の方式には対応しておりません。

1.「.pls」 ファイルをダウンロードして下さい。

www.shoutcast.com のウェブサイトを参照して「.pls」 ファイルをダウンロードして下さい。

SHOUTcast は Nullsoft のストリーミングオーディオシステムのフリーウェアです。世界中のたくさんのブロードキャスターが様々なインターネットコンテンツを用意しています。 SHOUTcast のディレクトリの中でも人気のあるものがリストアップされています。 お好きな局を選び、快適なリスニングの為にビットレートも適切かどうかを確認して下さい。

2. 聞きたい局の「Tune In!」のボタンを右クリックします。-->ポップアップメニューから「対象をファイルに保存」を選び、「.pls」 ファイルをTViXかシェアホルダーに保存します。

3. プレイリストファイルの編集

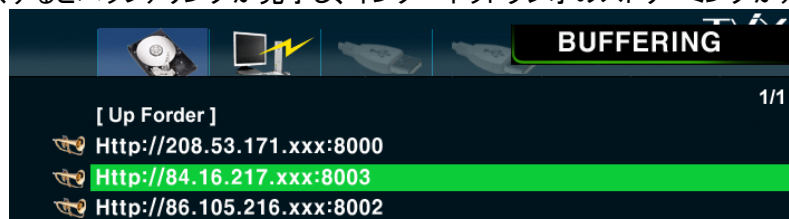
WinAMP上でダウンロードしたプレイリストファイル (.pls)を編集できます。

4. WinAMPを起動します--> メニューの「ファイル」から「プレイリストを開く」、そしてダウンロードしたプレイリストファイルを選択します。

5. 開いたプレイリストから不要なものを削除します。

6. プレイリストを「.m3u」か「.pls」の拡張子で保存します。

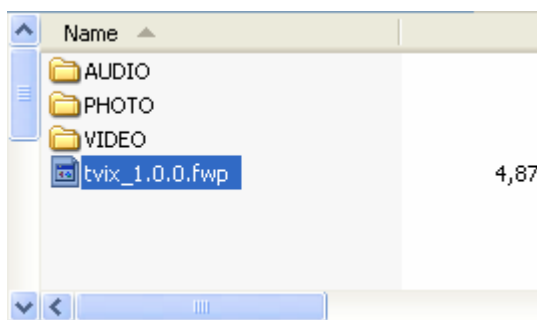
7. TViX のディスク上、又はネットワークのシェアホルダー(例:tvixhd1)から「.pls」か「.m3u」ファイルを選択し、「OK」ボタンで実行します。

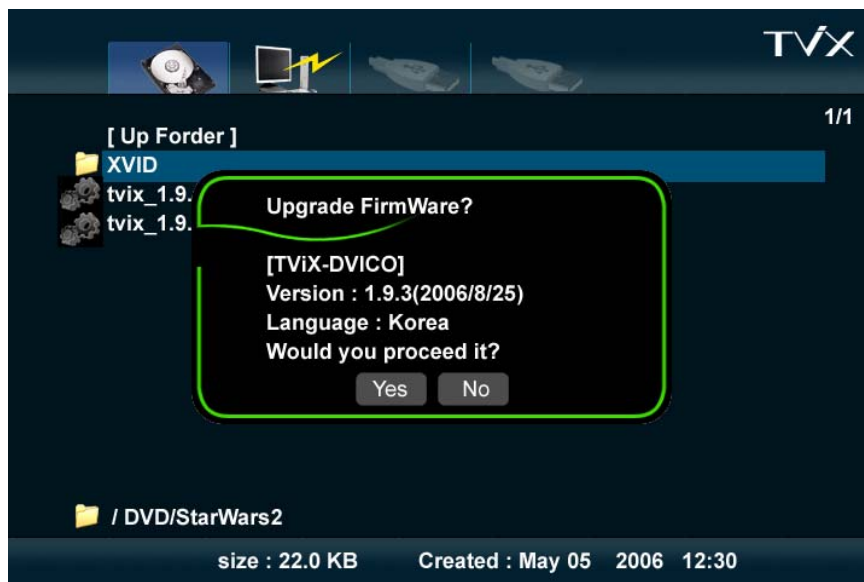
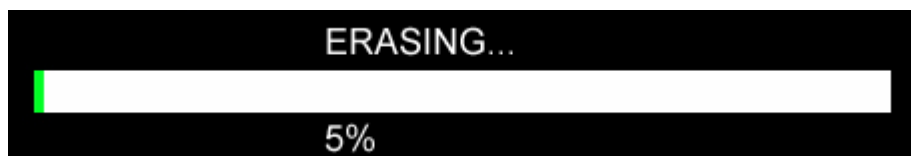
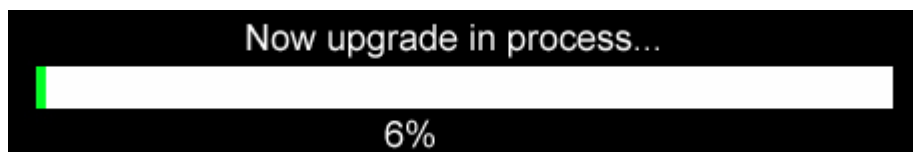
8. しばらくするとバッファリングが完了し、インターネットラジオのストリーミングが始まります。

7 ファームウェアのアップデートについて

ファームウェアのバージョンの確認方法

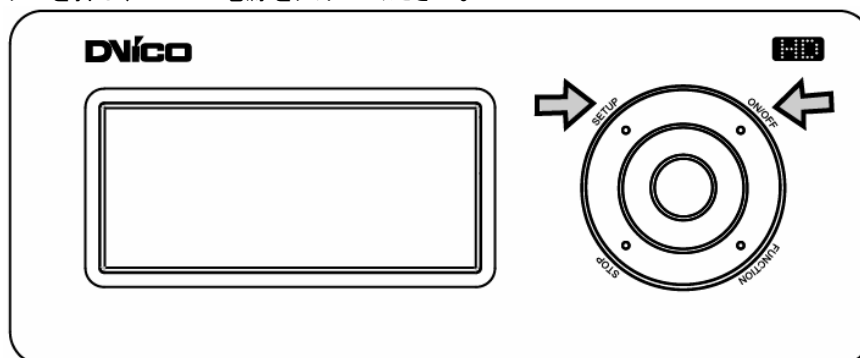
1. テレビにTViXを接続して、TViXの電源を入れてください。
2. 設定画面を表示するために、TViXの外側にあるSETUPボタンを押してください。
3. TViXの最新ファームウェアバージョンはhttp://www.tvix.co.kr/JPN/Default.aspxのホームページでご確認ください。上記ホームページでカスタマー登録をした場合、新しいファームウェアの情報と他の情報がメールで送られてきます

ファームウェアのダウンロード方法

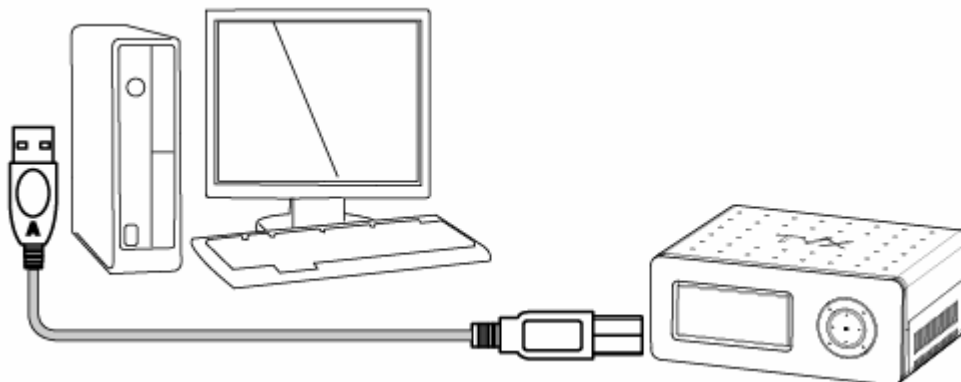
1. ご使用されるPCでhttp://www.tvix.co.kr/JPN/Default.aspx から最新のファームウェアを入手してください。
2. USB接続でPCにTViXを接続して、電源を入れてください。
3. TViXが外部ハードドライブとして認識されます。
4. 最新のファームウェア更新ファイルをTViXハードドライブのTViXのフォルダにコピーしてください。
5. TViXの電源を切り、TViXをテレビに接続してください。

ファームウェアのアップグレード方法

1. TViXをテレビに接続します。
2. コピーしたファームウェア更新ファイル(例:TViX1.0.1.fwp)を選択して、アップグレード開始のため、リモコンのOKボタンを押してください。
3. 青色の画面が表示されます。その後、画面の指示に従ってください。

4. 古いバージョンのファームウェアを消去しています。

5. 新しいファームウェアのアップグレード中です。(1分ほどかかります)アップグレードが正しく終了された後、TViXが自動的に再起動します。

< ご注意:セーフモードからのアップグレード>

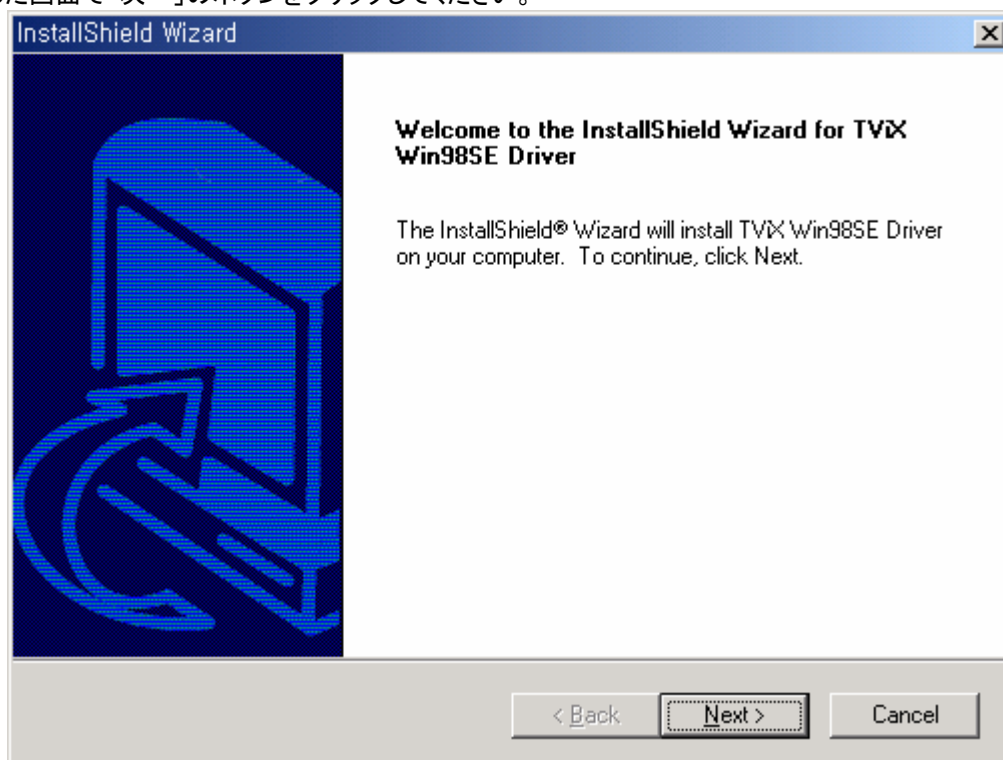
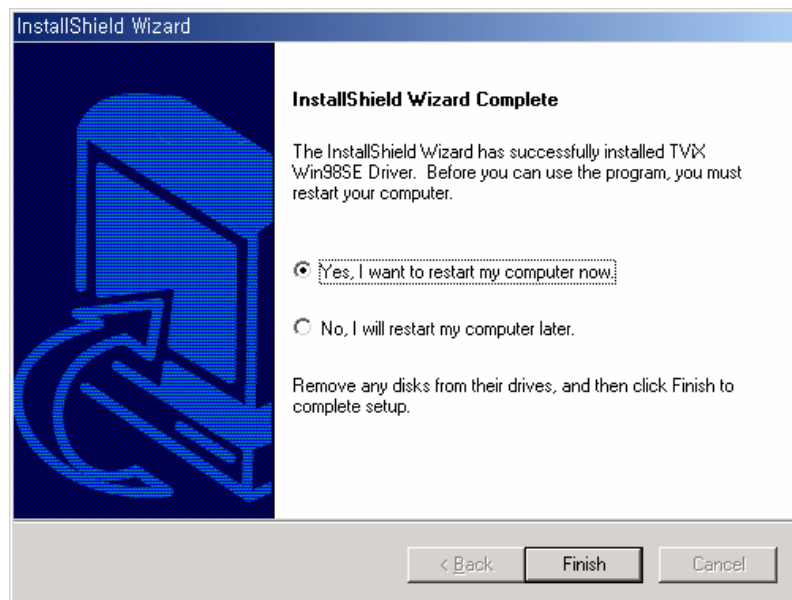
ファームウェアアップグレード中に、TViXの電源が切れた場合、セーフモードでファームウェアの再アップグレードが可能です。次の方法でアップグレードします。

1. TViXをPCとUSBに接続して、電源を入れます。
2. tvixfwと名前をつけたフォルダを基本パーティションに作成します。
3. 最新のファームウェア更新ファイルをTViXハードドライブのTViXのフォルダにコピーしてください。
4. SETUPボタンを押し、TViXの電源を入れてください。

5. HDD1/FW 1:01:00.のようにコピーされたファームウェアのバージョンが表示されます。
6. アップグレード開始するためにリモコンのOKボタンを押してください。
7. 古いバージョンのファームウェアを消去中の時はPREが表示されます。
8. 新しいファームウェアのアップグレード中はディスプレイに「UPG」と表示されます。
9. アップグレードが正常に終了した後、TViXは自動的に再起動します。

8　USBでのPC接続

PCにTViXをつなぐと、TViXは外付けのコンピュータ用の外付けハードディスクとしてもお使いいただけますPCをご使用する前に、ハードディスクドライブがマスターモードに設定されており、IDEケーブルと電源ケーブルが接続されていることをご確認ください。
USBケーブルの両端の形が違いますのでご注意ください。両端とも ″A″ プラグ（オス）と″B″ Plug(オス)になっているUSB2.0コードを使います。PCに接続後、TViXの電源を入れてください。

Windows98SEをお使いの場合は、TViXをPCに接続する前にUSBドライバをhttp://www.tvix.co.kr/JPN/download/download.aspx?ct=ETC からダウンロードしてください。WindowsME、2000、XPでは、USBドライバをインストールする必要はありません。

8.1 Windows98SEでのドライバのインストール方法

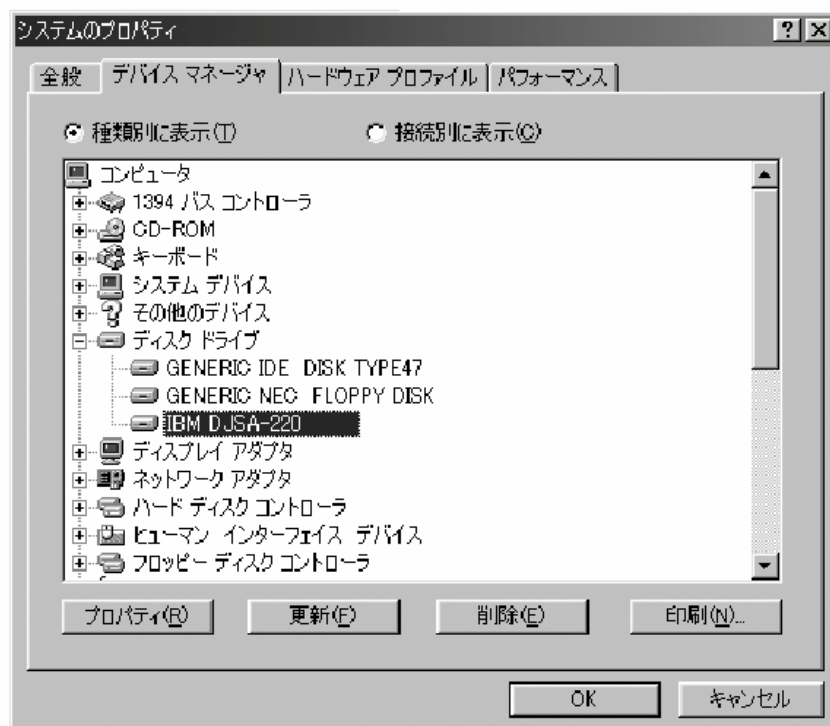
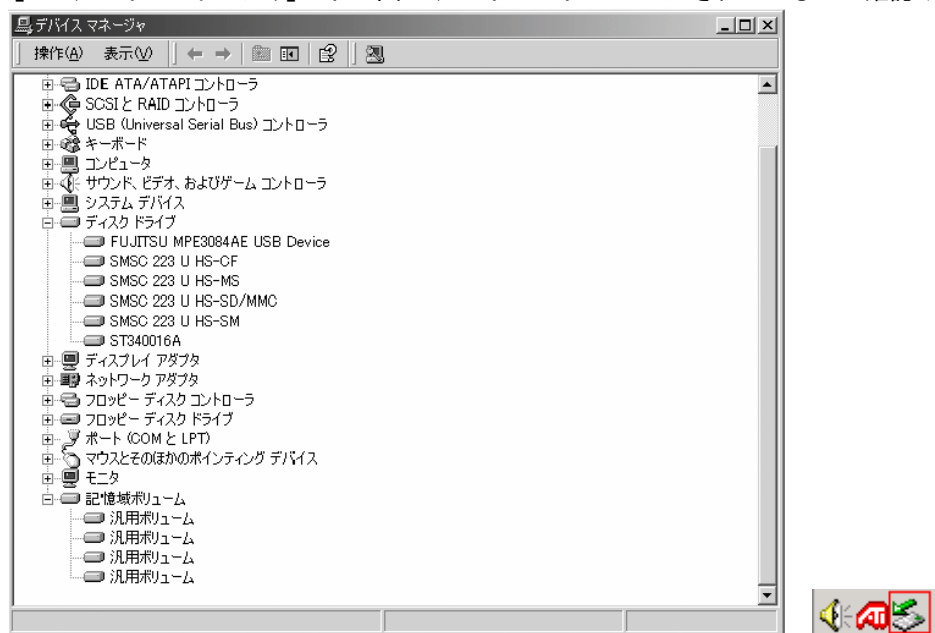
1) 表示された画面で「次へ」のボタンをクリックしてください。

2) 「終了」ボタンをクリックした後、再起動します。

3）再起動後にTViXを接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。

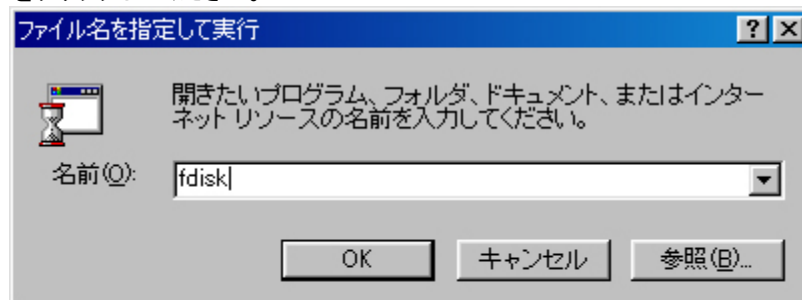
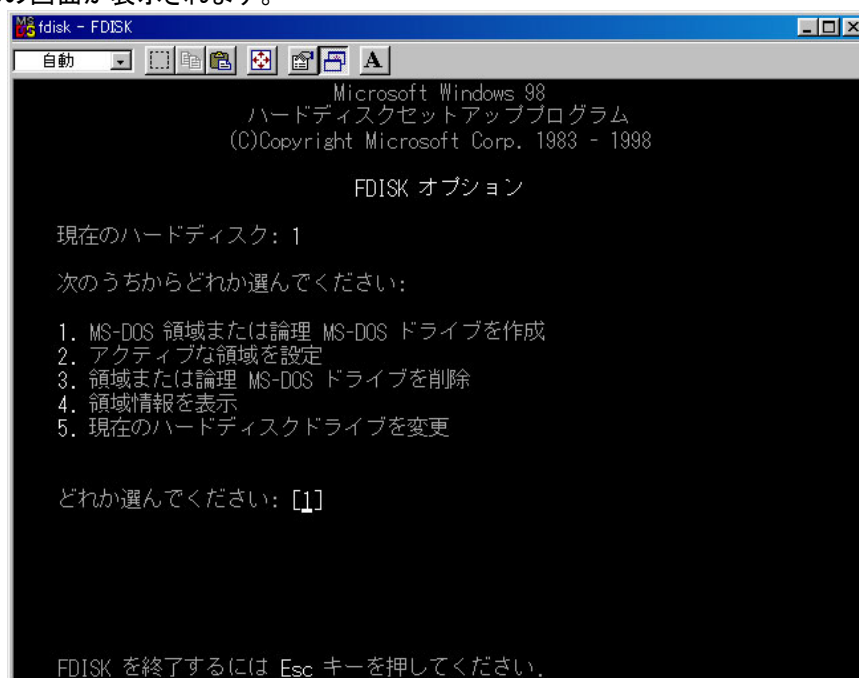
4）使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨））」を選択して「次へ」のボタンをクリックします。

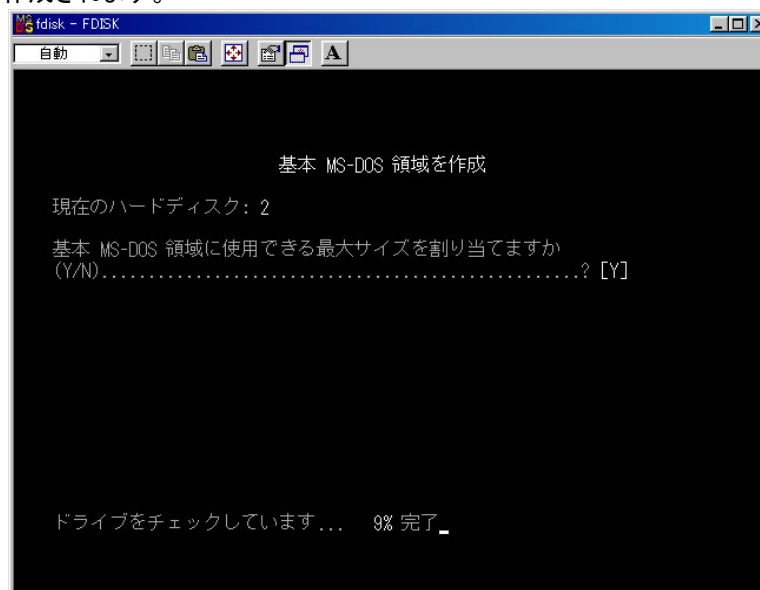
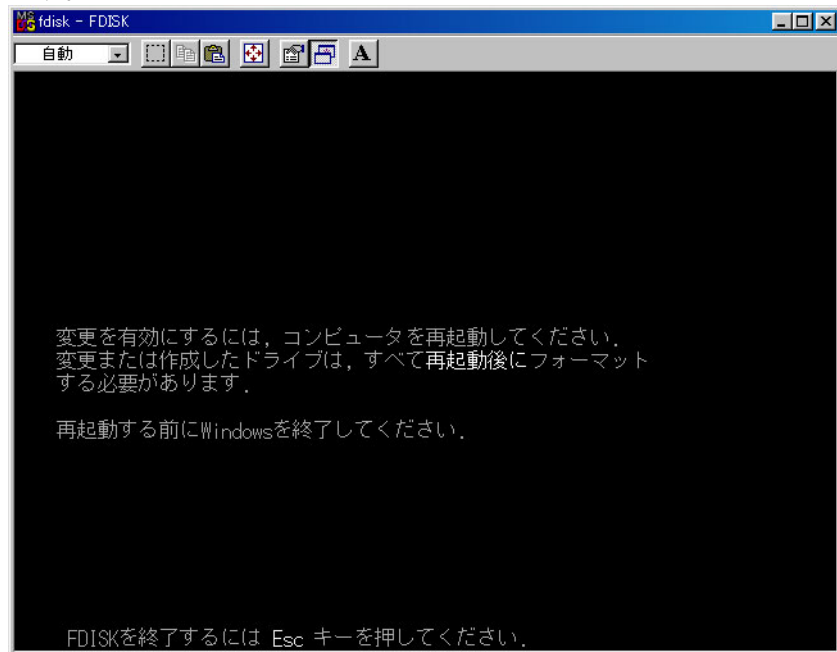
5）下の図の選択肢は、何も選択しないで「次へ」をクリックします。

6) 下の図に表示されているように、DVICO USB-ATA Bridgeが認識されます。「次へ」をクリックしてください。

7) 「終了」ボタンをクリックして、ドライバのインストールが完了します。

8) 「デバイスマネージャ」でTViXのディスクドライブがインストールされたことを確認できます。

<ヒント>
WindowsME、2000、XPは既にドライバがインストールされていますので、インストールする必要はありません。TViXを接続する場合、TViXが正しくインストールされているかどうかは、「マイコンピュータ」で右クリックし、→「プロパティ」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」で下の図のデバイスがインストールされているかご確認ください。

8.2 Windows 98SE/MEでのパーティションの作成とハードディスクドライブのフォーマット

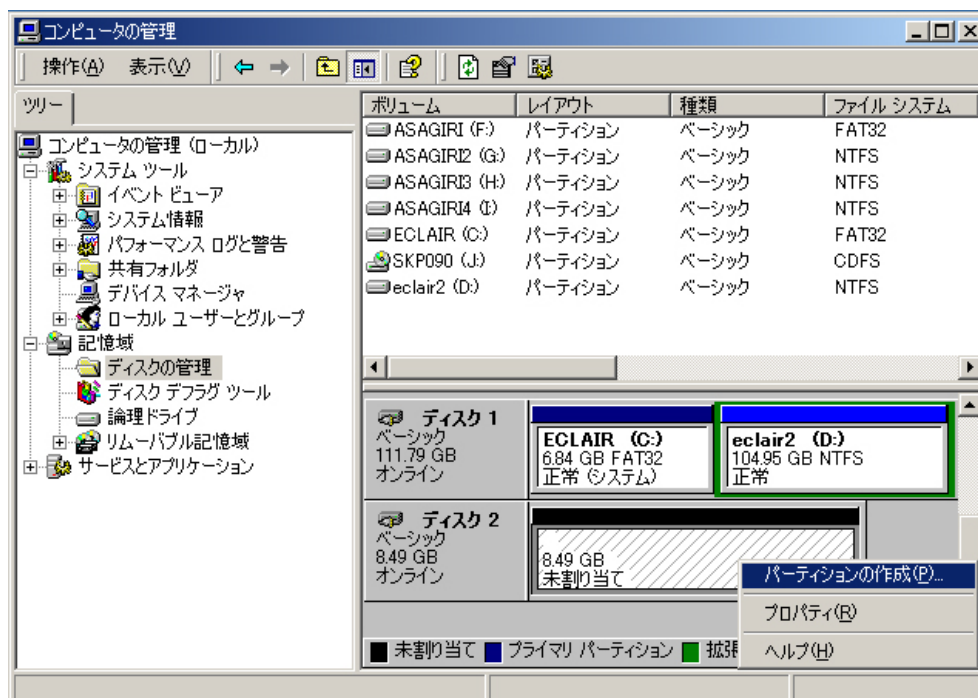
「スタート」ボタンから「ファイル名を指定して実行」を選ぶと下記のウィンドウが現れます。テキストボックスに「fdisk」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

1) 図のようなDOSの画面が表示されます。

2) 現在のドライブ(通常はWindowsの起動ディスク)をTViXドライブに変更する為に5番を選んでください。

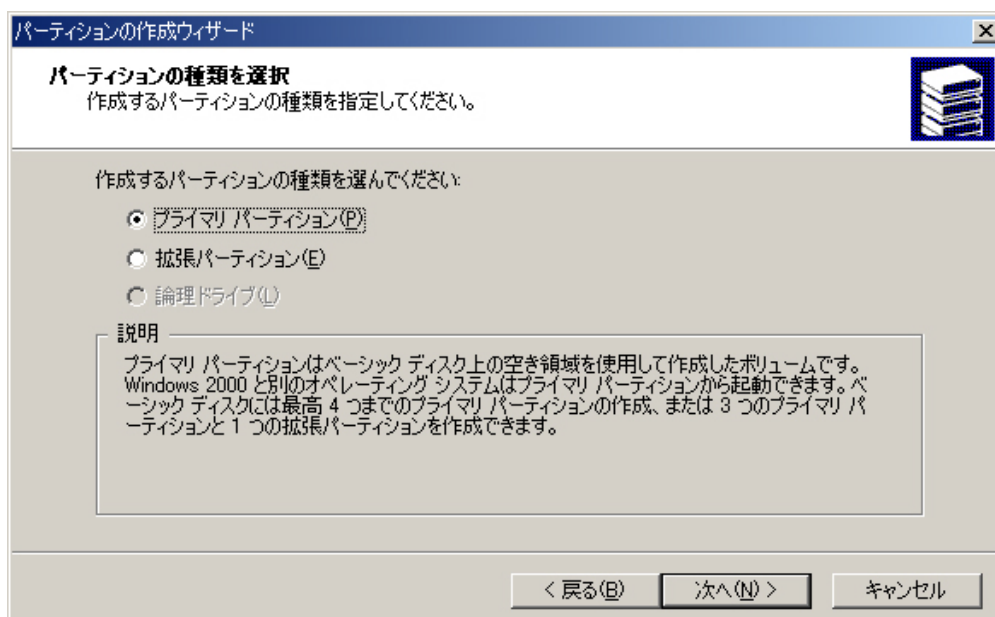
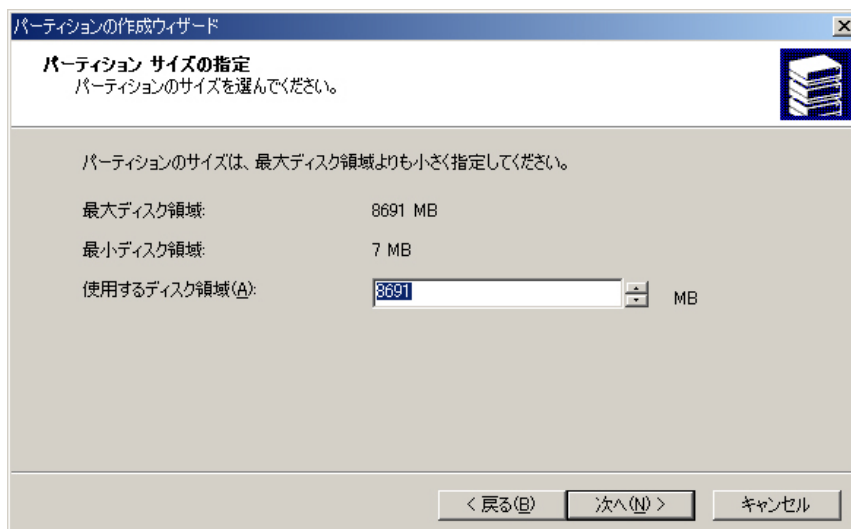
3) ハードディスクのパーティションの作成のため、1番を選択してパーティションの種類とサイズを選びます。選択した後、パーティションが作成されます。

4）パーティションの作成後に、リブートしないでください。TViXの電源を一度切って、再度電源をつけてください。PCはTViXを再初期化します。

5）WindowsのExplorerを開きディスクが新しく作成されたことを確認してください。新しく作成されたディスクを右クリックして、メニューから「フォーマット」を選んでください。次に、TViXのハードドライブのフォーマットを開始します。

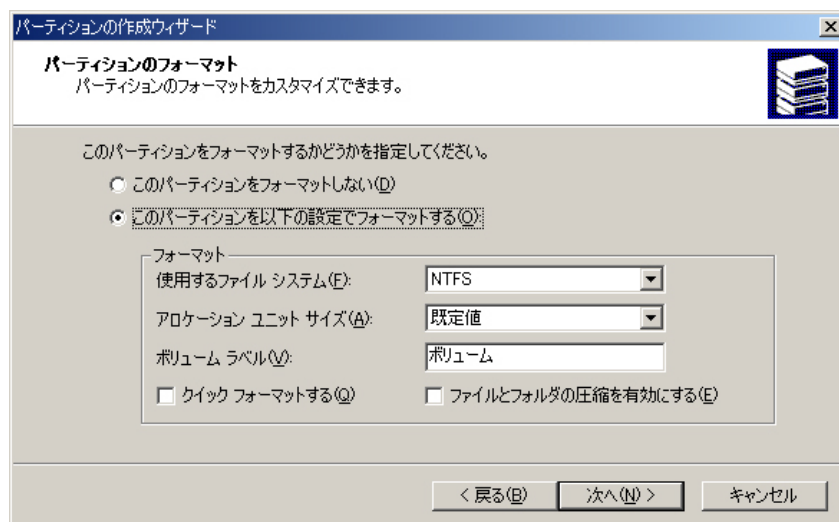
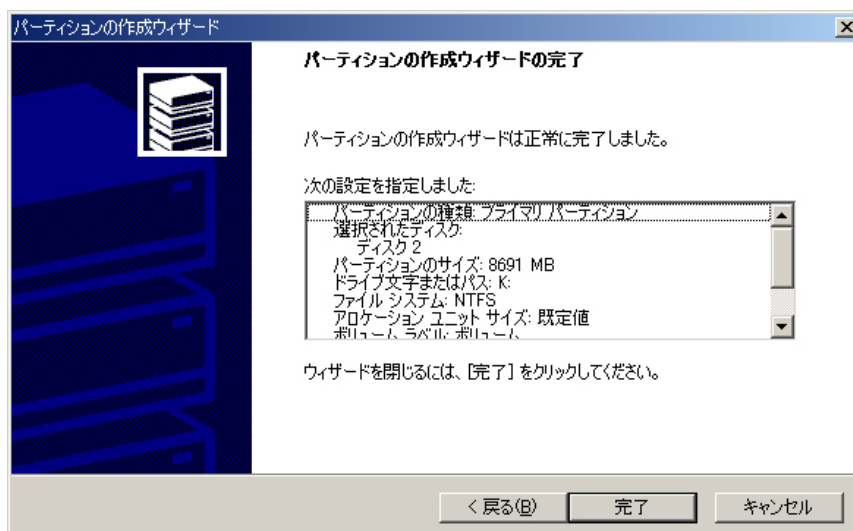
8.3 Windows 2000/XPでのパーティションの作成とハードディスクドライブのフォーマット

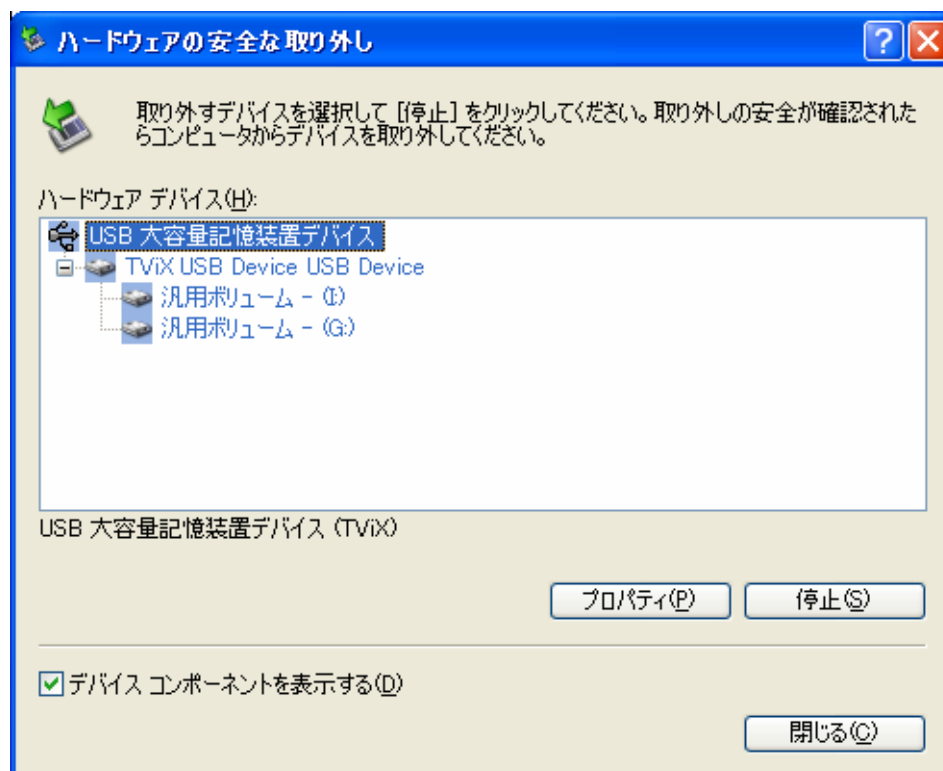
1) Windows2000ではディスクマネージャーユーティリィティを使い、パーティションの作成とハードディスクドライブをフォーマットすることができます。

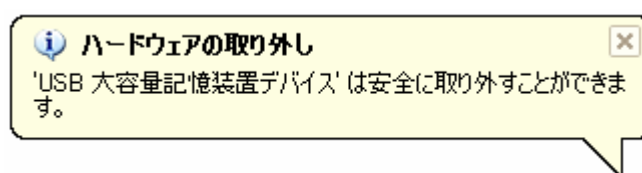
2) 「マイコンピュータ」を右クリックして、ポップアップメニューから「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されるので、「ディスクの管理」フォルダを選んでください。

3) ドライブディスクリストが、「コンピュータの管理」ウィンドウの右側に表示されます。リストからTViXのHDDを右クリックして、ポップアップメニューからディスクパーティションを作成するために「パーティションの作成」を選んでください。

4) 新しいパーティション作成ウィザードが表示されます。「次へ」を押してください。

5) パーティションタイプを選んで、HDDをフォーマットしてください。パーティションを作成する場合は、一つの場合も複数の場合もプライマリパーティションを選択してください。

6） パーティションのサイズを選択してください。1つのパーティションの作成をする場合は、「次へ」を押してください。FAT32については、サイズが32000MB、あるいはそれ以下までで制限されています。

7） ドライブを選択して、「次へ」のボタンを押してください。

8） パーティションフォーマットを選択してください。FAT32の時は32GBsの大きさに制限されています。

9） 終了した後、下記のような詳細な情報が表示されます。終了するには、「OK」ボタンをクリックしてください。

8.4 ハードウェアを取り外す、又は取り出す場合

1） Windowsのタスクトレイの取り外しアイコン　をダブルクリックすると、「ハードウェアを取り外し」画面が表示されます。デバイスを取り外す場合、「停止」ボタンをクリックしてください。

2)「ハードウェアデバイスを無効にする」の画面が表示されます。

3)「OKボタン」をクリックしてデバイスを取り外します。

9　用語の説明

DivX

DivXは、オープンソースの新しいMPEG-4ビデオコーデック(圧縮伸張ソフトウェア)。通常のバージョンは無償で利用できるが、DivXNetworks社からプロフェッショナル版が販売されています。通常のビデオコーデックはPCにインストールされていますが、このDivXビデオコーデックをインストールすると、Windowsメディアプレーヤーが使えたり、DivXが必要な再生ソフトが使えるようになります。
通常のMPEG動画ファイルより圧縮効率に優れ、動作速度も速いことから人気があり、音声圧縮フォーマットのMP3の成功にその姿をなぞらえる見方も多い。またDivXはDVDの動画品質に圧縮することが可能のため、市販のCD(700MB)に納めることもできる。MP3と共にDivXは高画質、高音質のファイルを作り出すことができます。

XviD

OpenDivX の開発者の一部が開発した MPEG4 ベースの新しい動画圧縮、伸張ビデオコーデックです。現在は世界中で開発が進んでいます。通常のビデオコーデックはお持ちの PC にインストールされていますがこの XviD ビデオコーデックをインストールすると、Windows メディアプレーヤーが使用できたり、XviD が必要な再生ソフトが使えるようになります。

MPEG

映像データの圧縮方式の一つで、ISOにより設置された専門家組織の名称がそのまま使われています。画像の中の動く部分だけを検出し保存するなどしてデータを圧縮しています。MPEG-1からMPEG-4までの各規格が定められており、再生品質はMPEG-1がVTR並み、MPEG-2がハイビジョンテレビ並みです。

VOB

VOBとはDVD-Video形式のMPEG-2ファイルのことです。DVDの映像ファイルには「.vob」という拡張子がふられてい格納されており、動画、音楽、字幕などの情報が含まれています。

SUBPICTURE

絵字幕はVOBファイルに格納されています。DVD上では通常字幕は、「テキスト」としてではなく動画像として格納されます。そのため、DVDの画像の上に重なって出るため、字幕が出たり消えたりすることができます。

AVI

Windows上でマルチメディアデータを格納する際に用いられるRIFFというフォーマットを応用し、画像データと音声データを交互に折り混ぜた構造になっているところから、この名前が付けられています。MP3、JPGのようにファイルのフォーマットですが、AVIはいろいろな圧縮コーデックを使い、ビデオと音声を圧縮できます。AVIは、様々な種類の圧縮(例えば、DivXのビデオの+WMAオーディオあるいはIndeoのビデオの+PCMオーディオ)を使うことができます。

AC3

アメリカのDolby Laboratoriesが開発した音声符号化方式で、一般には「ドルビーサウンド」の名称で知られています。独立した5チャンネルのサウンド(フロント左右、センター、リア左右)に加え、低音再生用のウーハー1チャンネルで構成されるため、5.1チャンネルサラウンドとも呼ばれています。映画館やLD、DVDに採用されており、DVDでは1秒当たり448キロビットのデータまで符号化します。詳細の情報はドルビーのウエブサイトをご覧ください。

DTS

DTSは、高品質デジタルサラウンドフォーマットの世界的な商標名です。DTSデジタルサウンドはハリウッド映画の100%のに使われています。DTSのデジタルオーディオ技術は、他のエンコードフォーマットに比べ、限りなくオリジナルのマスタークオリティーに近いサウンドを抵抗しており、DTSのマルチチャンネルサラウンドテクノロジーは、映画業界のオーディオ品質を格段に向上させ、その広がりは今や放送業界にまで及んでいます。

WMA

Microsoft社が開発した音声圧縮方式です。同社のWindowsなどに搭載されているマルチメディア技術「Windows Media」を構成する技術の一つで、同社製品の標準の音声圧縮方式で高い圧縮率を得る非可逆圧縮方式を採用しています。

Ogg Vorbis

Ogg Vorbisは新しい音声圧縮方式です。音楽圧縮フォーマットのMP3、VQF、AACおよび他のデジタル音声フォーマットに匹敵しています。 Ogg VorbisはMP3やWMAなどと同じく、圧縮時に情報を削ったり改変したりする不可逆圧縮方式を採用していますが、技術仕様等が公開されており、誰でも特許料等を払うことなく利用することができます。現在は可変ビットレートでのエンコードにのみ対応しており、音質は同ビットレートのMP3と同程度、エンコード速度はやや遅めと言われています。

480p

480プログレッシブ方式で、SDTVの標準方式として設計されました。VGAコンピュータモニターと互換性があり、アナログテレビにおいてはこの方式が優れていますがHDTVには対応しておりません。通常DVDの解像度は480pですが、DVDプレーヤーがプログレッシブ方式の信号を出力するか、コンポーネントビデオ入力が出力できる時のみ見ることができます。これはEDTVとしても知られています。

480i

480インターレース方式でSDTVの標準方式として設計されました。アナログテレビにおいてはこの方式が優れていますがHDTVには対応しておりません。通常DVDの解像度は480pですが、NTSCのアナログテレビで方式の信号を出力するか、コンポーネントビデオ入力が出力できる時のみ480iを見ることができます。

720p

720プログレッシブ方式です。ATSCのHDTVの２つのフォーマットのうちの１つの標準方式として設計されました。この技術は720の垂直ピクセルと1280の水平ピクセルになります。「p」はプログレッシブ方式を表し、「i」はインターレース方式で1080iがHDTVの標準方式として知られています。720pは1080iより劣っているわけではなく、720pは1080iよりも少ない走査線ですが、プログレッシブスキャンと一定の720本の垂直走査線があるため、クッキリとしてちらつきの少ない映像が得られ動画に最適です。

1080i

1080インターレース方式です。２つのフォーマットのうち、ATSCのHDTVの標準方式として設計されました。1080の水平ピクセル、と1920の垂直ピクセルです。数字は解像度を、「p」はプログレッシブ方式、「i」はインターレース方式を意味しています。1080iは720pよりも画質は優れておりませんが、1080iはより多くの走査線を持っているのでよいというわけではなく、線が飛んでしまったりすることもあるかもしれません。

NTSC

1953年に開発されたもので、テレビジョン（テレビ）放送通信の標準プロトコルと周波数の方式を策定するアメリカの標準化委員会の名称。他の方式として、PALおよびSECAMが世界で使用されます。NTSC基準は、色信号用の新しいパラメーターの追加を除いて、世の中に出て以来著しく変わっていません。NTSC信号は、コンピューター・システムと直接互換性を持ちません。NTSCテレビは、水平方向の走査線数が525本で、これらの走査線は左から右へ、下から上へ走査されます。毎秒30フレーム(1秒間に30回画面を書き換える)のインターレース方式で、水平走査周波数は15.75kHz、垂直走査周波数は60Hzです。

PAL

PALは地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つで、主にフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。水平方向の走査線数が625本(ブラジルでは525本)で、毎秒25フレーム(1秒間に25回画面を書き換える)のインターレース方式。走査線(Line)毎に位相(Phase)を反転(Alternation)させることから命名された。NTSC方式は日本で、SECAM方式は旧ソ連の国々で使用されています。

10 GNU General Public License

Dvico Co., Ltd is using a part of Free Software code under the GNU General Public License in operating TViX player. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's code and to any other program whose authors commit by using it. The Free Software is copyrighted by Free Software Foundation, Inc. and the program is licensed "As is" without warranty of any kind. Users are free to download the base source code of the Dvico TViX players at the following Address: www.tvix.co.kr/gpl The source code can be sent to your address via airmail for a charge of actual expense executed. Please contact us at sales@dvico.com

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an

explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.